

# 青年海外協力隊 平成21年度秋要請集

平成21年10月

No. 1

農林水産・加工部門

独立行政法人国際協力機構

青年海外協力隊事務局

J/333.9

SE

21-2

15290



青年海外協力隊 平成21年度秋募集要請集

職種	国名	要請番号	ページ	
1001	食用作物・稲作栽培	フィリピン	01209B30	1
1001	食用作物・稲作栽培	エチオピア	50609B02	2
1001	食用作物・稲作栽培	エチオピア	50609B04	3
1001	食用作物・稲作栽培	マラウイ	52409B21	4
1001	食用作物・稲作栽培	ウガンダ	54509B15	5
1001	食用作物・稲作栽培	ブルキナファソ	56309B04	6
1001	食用作物・稲作栽培	ブルキナファソ	56309B11	7
1001	食用作物・稲作栽培	ルワンダ	63609B02	8
1003	野菜栽培	インドネシア	00809B08	9
1003	野菜栽培	ネパール	06009B05	10
1003	野菜栽培	コスタリカ	21509B02	11
1003	野菜栽培	ドミニカ共和国	22409B01	12
1003	野菜栽培	ドミニカ共和国	22409B10	13
1003	野菜栽培	グアテマラ	23309B01	14
1003	野菜栽培	ベネズエラ	33609B04	15
1003	野菜栽培	エチオピア	50609B18	16
1003	野菜栽培	ウガンダ	54509B16	17
1003	野菜栽培	ザンビア	55109B22	18
1003	野菜栽培	ザンビア	55109B23	19
1003	野菜栽培	ジブチ	60309B08	20
1003	野菜栽培	ジブチ	60309B07	21
1003	野菜栽培	ジブチ	60309B09	22
1003	野菜栽培	マリ	62109B05	23
1003	野菜栽培	モザンビーク	63009B07	24
1003	野菜栽培	セネガル	64209B24	25
1004	果樹栽培	フィリピン	01209B23	26
1004	果樹栽培	ネパール	06009B23	27
1004	果樹栽培	マリ	62109B09	28
1004	果樹栽培	キルギス	74509B04	29
1004	果樹栽培	ウズベキスタン	76309B01	30
1101	病虫害対策	ドミニカ共和国	22409B02	31
1101	病虫害対策	ジブチ	60309B10	32
1102	土壌肥料	フィリピン	01209B27	33
1102	土壌肥料	フィリピン	01209B28	34
1102	土壌肥料	パナマ	25109B14	35
1102	土壌肥料	エチオピア	50609B19	36
1102	土壌肥料	タンザニア	54809B01	37
1102	土壌肥料	マリ	62109B06	38
1102	土壌肥料	ルワンダ	63609B12	39
1201	農業土木	ボリビア	30609B19	40
1201	農業土木	エチオピア	50609B03	41
1201	農業土木	エチオピア	50609B05	42
1201	農業土木	マラウイ	52409B01	43
1201	農業土木	マラウイ	52409B02	44
1201	農業土木	タンザニア	54809B02	45
1201	農業土木	ザンビア	55109B24	46
1201	農業土木	ザンビア	55109B25	47
1201	農業土木	ジブチ	60309B11	48
1201	農業土木	モザンビーク	63009B06	49
1202	農業機械	ブータン	04809B14	50

職種	国名	要請番号	ページ	
1202	農業機械	サモア	13909B07	51
1202	農業機械	ウガンダ	54509B17	52
1302	養蜂	パラグアイ	32409B16	53
1402	家畜飼育	フィリピン	01209B11	54
1402	家畜飼育	フィリピン	01209B24	55
1402	家畜飼育	フィリピン	01209B25	56
1402	家畜飼育	フィリピン	01209B26	57
1402	家畜飼育	エチオピア	50609B17	58
1402	家畜飼育	マラウイ	52409B03	59
1402	家畜飼育	マラウイ	52409B04	60
1402	家畜飼育	マラウイ	52409B22	61
1402	家畜飼育	マラウイ	52409B23	62
1402	家畜飼育	マラウイ	52409B24	63
1403	獣医・衛生	ニカラグア	24809B10	64
1403	獣医・衛生	ジブチ	60309B12	65
1501	農業協同組合	エチオピア	50609B26	66
1502	漁業協同組合	パプアニューギニア	12409B14	67
1503	村落開発普及員	フィリピン	01209B02	68
1503	村落開発普及員	フィリピン	01209B03	69
1503	村落開発普及員	フィリピン	01209B04	70
1503	村落開発普及員	フィリピン	01209B06	71
1503	村落開発普及員	フィリピン	01209B07	72
1503	村落開発普及員	フィリピン	01209B08	73
1503	村落開発普及員	フィリピン	01209B09	74
1503	村落開発普及員	フィリピン	01209B10	75
1503	村落開発普及員	フィリピン	01209B21	76
1503	村落開発普及員	ベトナム	02709B01	77
1503	村落開発普及員	ベトナム	02709B02	78
1503	村落開発普及員	ベトナム	02709B03	79
1503	村落開発普及員	ベトナム	02709B04	80
1503	村落開発普及員	ベトナム	02709B05	81
1503	村落開発普及員	バングラデシュ	05109B10	82
1503	村落開発普及員	バングラデシュ	05109B19	83
1503	村落開発普及員	バングラデシュ	05109B20	84
1503	村落開発普及員	バングラデシュ	05109B21	85
1503	村落開発普及員	ネパール	06009B03	86
1503	村落開発普及員	ネパール	06009B06	87
1503	村落開発普及員	ネパール	06009B13	88
1503	村落開発普及員	ネパール	06009B17	89
1503	村落開発普及員	ネパール	06009B18	90
1503	村落開発普及員	ネパール	06009B20	91
1503	村落開発普及員	ネパール	06009B24	92
1503	村落開発普及員	ミクロネシア	11509B07	93
1503	村落開発普及員	パプアニューギニア	12409B02	94
1503	村落開発普及員	エルサルバドル	22709B02	95
1503	村落開発普及員	グアテマラ	23309B09	96
1503	村落開発普及員	ホンジュラス	23909B01	97
1503	村落開発普及員	ホンジュラス	23909B02	98
1503	村落開発普及員	ホンジュラス	23909B03	99
1503	村落開発普及員	ホンジュラス	23909B04	100

青年海外協力隊 平成21年度秋募集要請集

職種	国名	要請番号	ページ
1503	村落開発普及員	ニカラグア	24809B11 101
1503	村落開発普及員	パナマ	25109B01 102
1503	村落開発普及員	パナマ	25109B06 103
1503	村落開発普及員	セントビンセント	26009B01 104
1503	村落開発普及員	チリ	31209B01 105
1503	村落開発普及員	パラグアイ	32409B06 106
1503	村落開発普及員	パラグアイ	32409B07 107
1503	村落開発普及員	パラグアイ	32409B08 108
1503	村落開発普及員	パラグアイ	32409B09 109
1503	村落開発普及員	パラグアイ	32409B10 110
1503	村落開発普及員	パラグアイ	32409B11 111
1503	村落開発普及員	パラグアイ	32409B13 112
1503	村落開発普及員	ベネズエラ	33609B01 113
1503	村落開発普及員	シリア	44209B01 114
1503	村落開発普及員	エジプト	46309B02 115
1503	村落開発普及員	モロッコ	46909B05 116
1503	村落開発普及員	モロッコ	46909B07 117
1503	村落開発普及員	モロッコ	46909B10 118
1503	村落開発普及員	ケニア	51509B18 119
1503	村落開発普及員	マラウイ	52409B05 120
1503	村落開発普及員	マラウイ	52409B06 121
1503	村落開発普及員	マラウイ	52409B07 122
1503	村落開発普及員	マラウイ	52409B08 123
1503	村落開発普及員	マラウイ	52409B26 124
1503	村落開発普及員	マラウイ	52409B27 125
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54509B01 126
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54509B02 127
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54509B03 128
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54509B04 129
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54509B05 130
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54509B06 131
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54509B07 132
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54509B08 133
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54509B09 134
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54509B10 135
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54509B11 136
1503	村落開発普及員	ザンビア	55109B05 137
1503	村落開発普及員	ベナン	56009B03 138
1503	村落開発普及員	ベナン	56009B04 139
1503	村落開発普及員	ベナン	56009B05 140
1503	村落開発普及員	ベナン	56009B06 141
1503	村落開発普及員	ベナン	56009B16 142
1503	村落開発普及員	ベナン	56009B17 143
1503	村落開発普及員	ベナン	56009B18 144
1503	村落開発普及員	ブルキナファソ	58309B05 145
1503	村落開発普及員	マリ	62109B03 146
1503	村落開発普及員	マリ	62109B04 147
1503	村落開発普及員	ニジェール	63309B01 148
1503	村落開発普及員	ニジェール	63309B02 149
1503	村落開発普及員	ニジェール	63309B03 150

職種	国名	要請番号	ページ
1503	村落開発普及員	ニジェール	63309B04 151
1503	村落開発普及員	ニジェール	63309B05 152
1503	村落開発普及員	ニジェール	63309B06 153
1503	村落開発普及員	ニジェール	63309B21 154
1503	村落開発普及員	ニジェール	63309B23 155
1503	村落開発普及員	ニジェール	63309B24 156
1503	村落開発普及員	ニジェール	63309B25 157
1503	村落開発普及員	ニジェール	63309B26 158
1503	村落開発普及員	ニジェール	63309B27 159
1503	村落開発普及員	ルワンダ	63609B05 160
1503	村落開発普及員	ルワンダ	63609B07 161
1503	村落開発普及員	ルワンダ	63609B08 162
1503	村落開発普及員	ルワンダ	63609B09 163
1503	村落開発普及員	セネガル	64209B03 164
1503	村落開発普及員	セネガル	64209B08 165
1503	村落開発普及員	セネガル	64209B15 166
1503	村落開発普及員	セネガル	64209B16 167
1503	村落開発普及員	セネガル	64209B17 168
1503	村落開発普及員	セネガル	64209B18 169
1601	食品加工	ブータン	04809B01 170
1601	食品加工	スリランカ	06609B08 171
1601	食品加工	ポリビア	30609B14 172
1601	食品加工	エチオピア	50609B27 173
1601	食品加工	ルワンダ	63609B01 174
1601	食品加工	キルギス	74509B08 175
1602	農畜産物加工	ミクロネシア	11509B09 176
1602	農畜産物加工	エチオピア	50609B29 177
1602	農畜産物加工	ガーナ	51209B06 178
1603	乳製品加工	エチオピア	50609B30 179
1604	水産物加工	インドネシア	00609B15 180
1701	森林経営	タンザニア	54809B49 181
1702	植林	ブルキナファソ	58309B06 182
1702	植林	マリ	62109B07 183
1801	水産資源管理	マーシャル	11209B06 184
1803	養殖	フィリピン	01209B29 185
1803	養殖	ネパール	06009B04 186
1803	養殖	バブアニューギニア	12409B12 187
1803	養殖	コロンビア	31509B13 188
1803	養殖	パラグアイ	32409B12 189
1803	養殖	タンザニア	54809B03 190
1803	養殖	タンザニア	54809B50 191
1803	養殖	ガボン	60909B01 192
1803	養殖	ガボン	60909B02 193
1902	生態調査	グアテマラ	23309B02 194
1902	生態調査	ジブチ	60309B08 195
2001	陶磁器	パナマ	25109B02 196
2002	竹工芸	フィリピン	01209B12 197
2002	竹工芸	メキシコ	24509B03 198
2003	木工	サモア	13909B08 199
2003	木工	サモア	13909B09 200

青年海外協力隊 平成21年度秋募集要請集

職 種		国 名	要請番号	ペー ジ
2003	木工	ヨルダン	42409B10	201
2103	金属加工	ポリビア	30609B05	202
2201	溶接	フィリピン	01209B15	203
2201	溶接	フィリピン	01209B18	204
2301	繊維	バングラデシュ	05109B25	205

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21年 1月 6日

要請番号( JL 012 - 09- B - 30 )

調査者名: 田中 智穂

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
フィリ ピン	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001 )	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Food Crops & Rice Culture			2	22 / 2	
指導科目(英)	3	/				

プログラム番号・名: 生計向上プログラム  
 プロジェクト名:

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国家経済開発局-ボランティア調整局 (受入機関名)(英語) NEDA-PNVSCA
	2) 配属先名 (日本語) シブラン町役場 (英語) Municipal Government Unit of Sibulan
	3) 任地 ネグロス・オリエンタル州シブラン町 首都( マニラ )から 南東 方向 600 Km 主要都市( ドゥマゲッティ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) シブラン町はネグロス・オリエンタル州の主要都市ドゥマゲッティ市に隣接する町であるが近年ドゥマゲッティ市からの人口流入が激しく、同町の平地部は住宅化され、そこで稲作や野菜栽培を行ってきた農民達は町内の丘陵地への移転を強いられている。シブラン町役場ではこの丘陵地農民の生活向上を目指し土壌改良や付加価値農作物の導入等の農業振興プログラムを実施している。(2009年農業振興プログラム予算約1千5百万円)

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) シブラン町の丘陵地(標高900M程度:5村、町中心部から車で30分~3時間:農民約3000人)では、平地部から移転してきた稲作・野菜栽培農民が土地を新たに開墾し、野菜栽培(茄子、ゴーヤ、白菜、トマト、インゲン等)、トウモロコシ、キャッサバ、サトウキビの栽培を行っているが、灌漑されていないため作付け規模は小さく、平地部に比べ収入は減少している。これら農民の収入向上を目指し、町では農業振興プログラムを実施中で、より糖度の高いコーン品種の導入及び簡単に安価な配水システムの構築と稲作栽培開始が求められ隊員の要請に至った。		
	2) 期待される具体的業務内容 町の農業普及員と共に丘陵地5村を巡回 ・現在栽培している甘みのないホワイトコーン(農業省より種が無料で配布)に加え、高付加価値の糖度の高いコーン種を 導入できるよう農民に技術指導。 ・稲作栽培開始のために、土地の適性調査を行い、簡単に安価な配水システムを考案し農民に提案する。 ・農民の中から稲作デモファームを決め配水システムを作成、及び稲作栽培の開始。 (参考:生活用水(井戸、雨水、一部上下水道)は存在する。畑への給水は主に<雨季>雨水、<乾季>バケツ等で水撒き、また一部の畑ではパイプを設置して水を引いている)		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 PC, ファックス、コピー機		
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 町役場職員 稲作・コーン担当普及員 男性 40代 1名 その他普及員(果樹、野菜、家畜等) 6人	5) 業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ その他 (ビサヤ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: ・学歴 大卒 農学 学歴理由: 稲作・コーン栽培を農民に指導するため 経験理由: ・小型自動二輪以上 理由: 担当地域を巡回指導するため 理由:		

資格条件	性別理由: 学歴理由: 稲作・コーン栽培を農民に指導するため 経験理由: 理由: 担当地域を巡回指導するため 理由:
------	--

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車			x

担当地域を巡回指導するため	* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
	* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況	気候(熱帯性) 気温( 20-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

記入日:平成 21年 6月 25日

要請番号( JL 506 - 09- B - 02 )

調査者名: 岩田 章一

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
エチオピア	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001 )	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目			1	22 / 1	日系/短期等 年 月 から
	職種(英) Food Crops & Rice Culture			2	22 / 2	
指導科目(英)	3	22 / 3				

プログラム番号・名 5060000000007 プロジェクト名 農業生産性向上  
 農業生産性向上

配属先概要	1)受入省庁名(日本語) アムハラ州農業農村開発局 (受入機関名)(英語) Bureau of Agriculture and Rural Development
	2)配属先名 (日本語) ウォレタ農業職業訓練カレッジ (英語) Woreta Agricultural TVET College
	3)任地 ウォレタ 首都( アジスアベバ )から 北西 方向 650 Km 主要都市( ハンデル )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) エチオピアの大稲作地帯に位置する農業職業訓練校。2009年9月から短大に昇格し、4つの学部から構成され農業普及員を育成する機関。配属先は約30人の農業研究員、インストラクターが滞在。JICAの帰国研修員(稲作研修)も副校長として在籍。日本の農業分野支援として、連邦農業省派遣の農業アドバイザー専門家、JIRCASの研究、NGOとの連携した活動も予定している。

要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) エチオピアは、人口全体の80%が農村人口、農業就労人口は全就労人口の約80%、産業においても農業生産が約50%を占める農業国である。一方、毎年食料支援が必要な地域もある。JICAは、農業分野への支援を最重点分野と位置づけ、研究、調査、普及分野への支援を実施している。今後エチオピアは、新たな作物である稲作拡大を計画している。特に、同地域は約30年前から紹介された稲作が根付いているが、効果的な収量拡大や新たな付加価値へのアイデアが欠如し、さらに稲作分野の専門的人材も不足しており課題は多い。本要請は、絶対的に不足している稲作分野の技術者育成のため、JICAボランティアの要請があった。		
	2)期待される具体的業務内容 配属先同様と以下を主に行う。 1. 米の栽培時期(6~10月)に稲作のポテンシャルや有効な種など現場調査を実施する。 2. 収集したデータを基に、稲作指導に必要な資料を作成する。 3. その他配属先と協議し、必要な活動を実施する。 4. 同配属先派遣予定の農業土木隊員、近隣の農業試験場派遣予定の関連職種隊員と連携した活動も期待している。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 学校にある事務機器。		

4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農業研究員・インストラクター・農業普及員(20~40歳)	5)業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ その他 ( )	6)選考指定言語 ☑ 英語 (V/N: ) □ (V/N: )
---	---	---------------------------------------

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	性別理由:
	学歴理由:
	・経験 実務経験 2年以上 経験理由: 経験豊富な研究員や農家に指導するため 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(熱帯性高原性気候 ) 気温( 10~30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)  
 況域 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 6 月 25 日

要請番号( JL 506 - 09 - B - 04 )

調査者名: 岩田 章一

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
エチオピア	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001 )	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1	年 月 から
	指導科目			2	22 / 2	
	職種(英) Food Crops & Rice Culture			3	22 / 3	
ア	指導科目(英)					

プログラム番号・名 5060000000007 プロジェクト名 農業生産性向上  
 農業生産性向上

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) アムハラ州農業農村開発局 (受入機関名)(英語) Bureau of Agriculture and Rural Development
	2)配属先名 (日本語) アデット農業試験場 (英語) Adet Agriculture Reserch Center
	3)任地 アデット 首都( アジスアベバ )から 北西 方向 600 Km 主要都市( ハンデル )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) エチオピアの稲作地帯であるアムハラ州にある農業試験場。1986年に設立。アムハラ州にある4ゾーン(東西ゴジャン、ア ウィ、南ゴンダール)を管轄し、3つの研究を主に実施(土壌・灌漑関係、穀物・作物関係、混農林業・アグロフォレストリ)し ている。日本の農業分野支援として、連邦農業省派遣の農業アドバイザー専門家、JIRCASの研究、NGOとの連携した活 動も予定している。JICA帰国研修員配属。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) エチオピアは、人口全体の80%が農村人口、農業就労人口は全就労人口の約80%、産業においても農業生産が約50% を占める農業国である。一方、毎年食料支援が必要な地域もある。JICAは、農業分野への支援を最重点分野と位置づ け、研究、調査、普及分野への支援を実施している。今後エチオピアの食糧支援として、新たな作物の稲作拡大支援を計 画している。特に、同地域は約30年前から紹介された稲作が根付いているが、効果的な収量拡大や新たな付加価値への アイデアが欠如し、さらに稲作分野の人材不足など課題は多い。本要請は、育成・収量調査の技術指導、ポストハーベスト 技術指導など稲作に関する支援のため要請があった。		
	2)期待される具体的業務内容 配属先同様と以下を主に行う。 1. 米の栽培時期(6~10月)に稲作のポテンシャルや有効な種など現場調査を実施する。 2. 収集したデータを基に、稲作指導への資料を作成する。 3. その他配属先と協議し、必要な活動を実施する。 4. 同配属先派遣予定の農業土木隊員、近隣の農業職業訓練校派遣予定の関連職種隊員と連携した活動も期待してい る。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 学校になる事務機器のほかは、特になし。		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 稲作農業研究員(男性・女性)2~3名 その他農業研究員、インストラクター、農業普及員(20~40歳)	5)業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ その他 ( )	6)選考指定言語 ☑ 英語 (いゝか: ) □ (いゝん: )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴理由:	
	・経験 実務経験 2年以上	経験理由:経験豊富な研究員や農家に指導するため 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)  
 概地 気候(熱帯性高原性気候 ) 気温( 10~30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)  
 況域 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 7 月 11 日

要請番号( JL 524 - 09 - B - 21 )	調査者名: 関 香織
------------------------------	------------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
マラウイ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001 )	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	指導科目			1 22 / 1	年 月 から
	職種(英) Food Crops & Rice Culture			2 22 / 2	
指導科目(英)	3 22 / 3				

プログラム番号・名 5240000000003 プロジェクト名 農村生計向上  
 灌漑農業振興プログラム

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農業食糧安全保障省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Food security
	2)配属先名 (日本語) リフウ稲作試験所 (英語) Lifuwu Rice Research
	3)任地 リフウ 首都( リロングウェ )から 東 方向 130 Km 主要都市( サリマ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) リフウ稲作試験場は農業食料保障省農業試験場局に属し、稲作に関するマラウイにおける適正品種の選定と効果的な栽培方法の研究、病虫害対策、肥料に関する選定などを調査・分析し、稲作農家に推奨していく目的で設置されている。近年はJICAと協力してネリカ米の試験栽培を行っている。年間予算は約200万KW(日本円で約200万円)。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同試験場ではいもち病やごま葉枯れ病・その他害虫が散見されるが、病虫害に関する専門家の欠員や不十分な設備の為に十分な対策がたてられていない。その為適切な予防・治療方法の提言と実施が求められ隊員の要請に至った。現在活動中の隊員(19-2)はAgronomy Sectionに所属し、稲作栽培方法全般の試験栽培と平行して、野菜栽培の研究も行っている。今後は病理学の知識を持ち病虫害対策中心に活動しつつ、前任者のように稲作試験一般の試験方法や水管理に関与する事も期待されている。また、ネリカ米の試験・普及活動を支援する事も求められている。
	2)期待される具体的業務内容 1. 試験稲の病・病虫害に対する指導、助言。 2. 各種栽培試験に関する指導、助言。 3. ネリカ米導入に関する指導・助言。 4. その他に、隊員の経験・知識を基に、赴任後配属先と活動内容を相談する。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし

4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル Station Manager 男性・院卒 農耕・品種・種籾の各セクションにオフィサーがおり、皆大卒十分な農業の知識を持つ 各部署に各15名の作業員	5)業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ その他 (チェワ語 )	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
---	---	---------------------------------------

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・学歴 大卒 農学	学歴理由: 稲作試験場にて活動するため
	・小型自動二輪以上	経験理由:
		理由: 対象地域巡回のため
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車			×

対象地域巡回のため  
 \* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(サバンナ ) 気温( 10-30℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
	電話(□インターネット可 ☑通話可 ☑不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 8 月 11 日

要請番号( JL 545 - 09 - B - 15 )

調査者名: 藤家 斉

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウガンダ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001 )	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Food Crops & Rice Culture 指導科目(英)			3	22 / 3

プログラム番号・名 5450000000012      プロジェクト名 コム振興

1) 受入省庁名(日本語) 農業畜産水産省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries

2) 配属先名 (日本語) 国立作物資源研究所  
 (英語) National Crops Resources Research Institute

3) 任地 ナムロンゲ  
 首都( カンバラ )から 北 方向 25 Km  
 主要都市( カンバラ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.8 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 農業分野の研究・技術開発を担う国家農業研究機構(NARO)の傘下にある作物資源研究所は、首都カンバラの北25kmに位置し、食用作物全般の研究を実施している。JICAは2004年6月から個別専門家「ネリカ米適用作化技術」を継続的に派遣。同専門家は、ネリカの品種試験を実施、研修や種子の配付を通じた普及活動を展開し、2008年7月からは「ネリカ米振興プロジェクト」を開始した。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 ウガンダにおいては、農民のネリカ栽培への関心が高まりつつあり、技術指導へのニーズは極めて高い。一方で、ウガンダの稲作は歴史が浅く、特に研究分野では人材が少なく、適正な技術開発・指導ができる人材に限られている。そこで、近年稲作研究及び技術普及に力を入れている国立作物資源研究所において、JICAプロジェクトと連携しつつ、必要な技術指導を行うためのボランティアの派遣が要請された。

2) 期待される具体的業務内容  
 1. プロジェクトと連携した稲作に関する各種試験の実施  
 2. 農家圃場における実証試験の実施  
 3. ウガンダ各地でネリカ普及・栽培活動を行っているJOCVへの技術的支援

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 試験・実験機材一式

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ネリカの研究を行っているCereal Programは総勢14名のスタッフがいる。うち、Researcherは博士号、Research Assistantは修士号を有している。	5) 業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (V^N: ) □ (V^N: )
--	-----------------------------------	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:  
 学歴 大卒 農学      学歴理由: 栽培試験等、農学の知識が不可欠  
 経験理由:  
 理由:  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(亜熱帯 ) 気温( 10-30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)  
 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 □不安定 ☑なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21年 6月 22日

要請番号( JL 563 - 09 - B - 04 )

調査者名:澤田 紀久/古川 佳恵

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブルキナ ファソ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001 ) 指導科目 職種(英) Food Crops & Rice Culture 指導科目(英)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
				1	22 / 1	年 月 から
				2	22 / 2	
3	22 / 3					

プログラム番号・名 5630000000008 プロジェクト名 稲作振興プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 農業・水利・水産資源省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Water supply and Fishing

2) 配属先名 (日本語) スム県局  
 (英語) Soum Provincial Directorate

3) 任地 スム県ジボ市  
 首都( ワガドゥグ )から 北 方向 200 Km  
 主要都市( ワガドゥグ )までの交通手段及び所要時間( パス で約 4.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 同省の政策や方針に基づいて県内の農業・水利・水産に関するプロジェクト/プログラムの実施支援と郡・町・村レベルの農業事務所への技術指導支援・情報提供を行なう。予算や機材は充分にない。同地域に湿地帯を整備した台湾による天水稲作プロジェクト(72Ha/2008年度)が実施中。また、隣県に野菜栽培隊員が2008年3月より活動中。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 同県は北部サヘル地方に位置し、降水量が少なく(約600mm/年)農業栽培には非常に厳しい環境である。おもな農産物はトウジンビエやモロコシなどの穀類である。当国では、輸入米の価格高騰や食文化の変化により国産米の需要が高まっており、政府は稲作の拡大を進めている。近年、同地域においても貯水池(5つ)周辺の湿地帯(291Ha)を利用し、天水で陸稲の栽培を開始した。同地域では稲作栽培のさらなる発展、普及を期待しているため、同県局職員と協力し新品種(ネリカ稲等)や栽培技術の改善により、同地域の米の生産性向上への支援を行える人材を必要としている。

2) 期待される具体的業務内容

- 任地に適した品種や栽培方法の調査、導入への支援  
 (任国の農業研究機関にてネリカ稲栽培試験を支援する日本人専門家(ベナン駐在)との連携も考えられる。)
- 家畜の糞を利用した、堆肥作り普及への支援  
 (土地は土壌劣化が進行し生産性は極めて低い。そのため、同地域で盛んな牧畜で得られる材料を利用した堆肥の土壌改良の取り組みが期待される。)
- 灌漑稲作栽培の可能性の調査  
 (現在は、乾期栽培は野菜のみに限定されている。灌漑稲作導入のための、調査・試験等が期待されている)

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 特に無し

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 県局長(40歳代/男性)、秘書(40歳代/女性) 農業指導員(30~50歳代/男女) 農民(10~50歳代/男女)	5) 業務使用言語 ● フランス語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
---	--------------------------------------	--

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 性別理由:  
 学歴理由:  
 経歴理由:  
 ・小型自動二輪以上  
 理由:巡回が必要  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車			x

巡回指導に必要  
 \* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(サヘル ) 気温( 10~45℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)  
 水道(□安定 ☑不安定 □なし)  
 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 8 月 8 日

要請番号( JL 563 - 09 - B - 11 )

調査者名: 古川 佳恵

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ブルキナ ファソ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001 ) 指導科目	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 2
	職種(英) Food Crops & Rice Culture 指導科目(英)			2	22 / 3
				3	/

プログラム番号・名 5630000000003 プロジェクト名 農業・農村開発プログラム

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農業・水利・水産資源省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, water supply and fish
	2)配属先名 (日本語) ケネドゥグ県農業・水利・水産資源局 (英語) Kenedougou Province Directorate of Agriculture, water supply and fish
	3)任地 ケネドゥグ県バンソン村 首都( ワガドゥグ )から 南西 方向 415 Km 主要都市( ボボ・デュラソ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 県内の農業・水利・水産事業の運営・管理・技術支援を行っている。予算に余裕はない。 勤務先は、同県局支所のバンソン農業地区(県局より約50Km・農業指導員2名在勤)である。 2002～2005年に2代に渡り、稲作隊員が活動。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 世界的な食糧危機による穀物価格高騰で、米を輸入に依存している当国でも食糧事情が悪化している。このため、2008年には米生産の倍増が計画されている。任地は約450Haの灌漑水田を有するコメ生産の盛んな地域である。しかしながら、生産性は低下しており、年二期作で3～4t/ha/年である。そのため、低価格化学肥料の提供や優良種子利用の促進を計画しているが人材は乏しく米生産知識と技術を保有する適切な農業指導者が求められている。米生産性向上のための技術指導、またJICA優良種子普及プロジェクトとの緩やかな連携も期待されている。		
	2)期待される具体的業務内容 ・生産性向上のための生産技術支援(種子選択、栽培管理、ポストハーベスト等) ・優良種子生産農家への生産技術支援 ・コミュニティによる選択(CBSS)の導入の支援(ネリカ稻、在来品種等) ・任地はJICAの優良種子プロジェクトの対象地域内にあたるため、プロジェクトとの協力		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚(男性・30歳代) 現地農業指導員(男性2名・40歳代) 生産者(男女・10～50歳代)	5)業務使用言語 ● フランス語 ( ) ○ ( )	6)選考指定言語 ☑ 英語 (V/N: ) □ (V/N: )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	性別理由:
	学歴理由:
	経験理由:
	理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車			×

約450Haの灌漑水田を巡回指導するため  
 \* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候( スーダン ) 気温( 10～40℃位) 電気(□安定 □不安定 ☑なし) 電話( □インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし ) 水道(□安定 □不安定 ☑なし)
----------	---

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 10 日

要請番号( JL 636 - 09 - B - 02 )

調査者名: MBOW 由紀子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ルワンダ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001 )	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Food Crops & Rice Culture			2	22 / 2	
指導科目(英)	3	22 / 3				

プログラム番号・名 東部県地方開発プログラム  
 プロジェクト名

1) 受入省庁名(日本語) 地方自治省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Local Government

2) 配属先名 (日本語) 東部県ゴマ郡ルレンゲセクター事務所  
 (英語) Rurenge Secteur Office

3) 任地 東部県ゴマ郡ルレンゲ  
 首都( キガリ )から 南東 方向 106 Km  
 主要都市( キガリ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2.75 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 2006年の地方分権化によって、ルワンダの行政は4県及びキガリ市、30郡体制へと再編された。ルレンゲセクターの人口は約22,700人、37の再定住地域を含む6つのセルの上部機関であり、住民組織とともに地域住民への行政サービスに取り組んでいる。気候は温暖で降雨量は年間1,100mm、米のほかにソルガム、メイズ、キャッサバなどの食用作物が栽培されており、住民の90%は農業従事者である。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 同セクターはゴマ郡の北部に位置し、湿地を利用した二期作の稲作栽培が盛んな地域である。稲作関連の農業協同組合は3つあり、そのうちの代表的な稲作協同組合COPRIMWAの2008年稲作栽培面積は205ha、700名の組合員を擁している。世銀やルワンダ政府のプロジェクトが実施されており、篤農家を中心とした稲作栽培の指導や種籾栽培など、更なる稲作振興が期待されている。また、稲作協同組合への活動支援も期待されている。

2) 期待される具体的業務内容  
 1. 農業協同組合の圃場は配属先から5-7キロ程度離れており、農業技官と共に稲作栽培や種籾栽培等の技術的指導を行う。  
 2. 湿地を利用した二期作の稲作栽培であることから、集約的栽培方法による収量増加技術が求められる。(現状は3-4t/ha、目標7t/ha) 農業協同組合員又は現地農民を対象に稲作栽培指導をし、組合員の生計向上・生活改善を行う。  
 3. 稲作共同組合の強化(組織運営)や種籾生産技術の指導等も期待されている。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 事務所

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
 セクター長、社会問題担当、農業技官(40代男性)各1名  
 住民団体 団团长 男性 40代

5) 業務使用言語  
 ◎ フランス語  
 ( )  
 ○ ( )

6) 選考指定言語  
 英語 (レベル: )  
 (レベル: )

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 性別理由:  
 ・学歴 高等専門学校卒 農学 学歴理由:  
 経験理由:  
 ・稲作栽培経験 理由:  
 理由:

活動用交通手段の必要性  
 有  無  車輦  単車  自転車、  
 研修等 形態 現職教員特別参加制度

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)  
 概地 気候(熱帯性) 気温( 15-30℃位) 電気安定 不安定 なし  
 況域 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道安定 不安定 なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 17 日

要請番号( JL 006 - 09- B - 08 )

調査者名: 伊佐治 直樹

国名	職種/指導科目 (コード 1003 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インドネ シア	職種 野菜栽培 指導科目	○新規	●2年	1	22 / 1
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)	●交替 2代目	○1年 ○ヶ月	2 3	22 / 2 22 / 3

プログラム番号・名 0060000000022 プロジェクト名  
 南スラウェシ州地域開発プログラム

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture
	2)配属先名 (日本語) マロス県農業・林業・食用作物普及所 (英語) Maros Local Government, Agriculture, Forestry and Farm products Office
	3)任地 南スラウェシ州マロス県 首都( ジャカルタ )から 東 方向 1300 Km 主要都市( マッサラル )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業・食用作物・園芸作物事務所、林業・果樹事務所、水産・海洋・畜産事務所の農業分野3局が立案した計画を現場にて実行、コーディネートする機関。県内における農業セクター全体のプログラムの実行をサポートしており、県内全普及所の本部である。現場にて直接営農指導を行うため、農民との接点が多く、様々なタイプの農民グループの情報を把握している。同事務所が管轄している農民グループ数は560。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同県の主要農作物は大トウガラシ、トマト、キャベツ、ジャガイモ、トウモロコシ、落花生、キュウリ、メロン、ライチなどである。県としては今後健康野菜の栽培を促進していくことを計画しており、先ずは一つの郡をパイロット地として選定し、健康野菜モデル郡をつくることにしている。しかしながら、健康野菜の栽培に関する十分な知識をもった普及員や農民が不足していることから、健康野菜栽培、有機肥料づくりに関する指導を行うことができる野菜隊員が要請された。現在活動中の隊員は、モデル地域に居住し、モデル畑の整備、近隣農家の巡回、堆肥作り等の活動を行っている。		
	2)期待される具体的業務内容 パイロット地域であるチャンバ郡において、以下の活動を現地農業普及員等と行う。 ①有機栽培の普及。 ②農家を対象に農業研修施設を利用した栽培技術の講習会実施(県事務所主催)。 ③チャンバ郡地域の活動を他地域に紹介する。 ④モデル畑において新規野菜の可能性を探る。 同地域で栽培されている主な作物は、大トウガラシ、トマト、キャベツ、ジャガイモ、トウモロコシ、インゲン、キュウリ等。隊員はチャンバ郡の農村居住となるため、田舎での生活に対して適応出来る人が望ましい。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 基本的農機具(くわ、すき、スコップ等)		

資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農民グループ代表:30代、男性、日本での研修受講経験あり	5)業務使用言語 ● インドネシア語 ( ) ○ ( )	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	学歴理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(熱帯雨林 ) 気温( 25~30℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
	電話( □インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし )	水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 20 日

要請番号( JL 060 - 09 - B - 05 )

調査者名: 立田 亜由美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ネパール	職種 野菜栽培 (コード 1003 ) 指導科目	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			2	22 / 3
				3	/
					年 月 日 から

プログラム番号・名 0600000000010 プロジェクト名  
 農業農村開発プログラム

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農業協同組合省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Co-operatives
	2)配属先名 (日本語) カブレバランチョーク郡農業開発事務所 (英語) District Agriculture Development Office, Kavre
	3)任地 カブレバランチョーク郡トゥリケル市 首都( カトマンズ )から 東 方向 20 Km 主要都市( カトマンズ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、カトマンズ近郊の肥沃な田園地帯を擁する郡の農業開発事務所である。域内の農家グループを対象に、改良技術の普及等を行い、農業振興を図っている。年間予算は約1400万円。野菜栽培を推進する米国系NGO等の技術支援も受けている。平成21年度春募集で柑橘栽培の協力隊を要請中。また、今期同時に村落開発普及員を要請しているが、管内の別の支所が拠点となる。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先が所管する地域では近年、竹の支柱を用いたビニルハウスでのトマト等の野菜栽培が導入され、良い収入源となるため、拡大傾向にある。ところが、配属先には施設栽培のノウハウが乏しいことが問題となっている。そのため、特にハウス内の土壌管理、病虫害対策に関する指導を行うボランティアが要請された。
	2)期待される具体的業務内容 トマト等のハウス栽培に関し、次の支援活動を行う。 1. 農民を対象に、ハウス内の土壌管理について技術指導を行う。 2. 農民を対象に、ハウス内の病虫害管理について技術指導を行う。 3. 特にハウス栽培が盛んな地域を選び、野菜栽培に関する一般的な技術指導を行う。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし

資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 所長 (50歳代 男性) 技官 (果樹、植物病理、農業普及 30~40歳代 男性各1名) 技官補 (20~40歳代 男女 5名) ほか、郡内6カ所の支所には各2名の技術スタッフが在駐	5)業務使用言語 ● ネパール語 ( ) ○ ( )	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
------------------	---	-------------------------------------	---------------------------------------

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・学歴 大卒 農学	学歴理由:
	・経験 実務経験	経験理由:現場で技術指導するため
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ○単車 ●自転車			X

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、X:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯 ) 気温( 0-35℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)
----------	--

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 14 日

要請番号( JL 215 - 09 - B - 02 )

調査者名: 根本 尚

国名	職種/指導科目 (コード 1003 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
コスタ リ カ	職種 野菜栽培	○新規 ◎交替 5 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1	年 月 から
	指導科目			2	22 / 2	
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			3	22 / 3	

プログラム番号・名 2150000000007 プロジェクト名  
中小企業・地場産業強化

1) 受入省庁名(日本語) 農牧省  
(受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Stockbreeding

2) 配属先名 (日本語) アテナス事務所  
(英語) Agriculture Service Agency of Atenas

3) 任地 アラフエラ県アテナス  
首都( サンホセ県サンホセ )から 西 方向 40 Km  
主要都市( サンホセ県サンホセ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
アラフエラ県アテナス市の周辺地域において、雇用促進のための農産物生産プロジェクトの運営、また農民や住民に対する有機栽培や養液栽培技術のアドバイス、農業技術および農産物輸出に関する講習会を通して、農産物の生産向上・輸出向上を図っている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
配属先は主にアテナス地域の農民を対象にした有機栽培技術の普及を目指していたのだが、近年の経済危機や食品の高騰により、農民だけでなく市場関係者や地域住民、貧困地域の女性グループといった職業や年齢を超えた人々が、野菜作りに対して強い興味を示している。その為現在は、地域住民や教育現場においても野菜栽培技術指導を展開している。現在4代目隊員が、簡易プランターで養液栽培や有機栽培のデモンストレーションを行い、地域住民へ農場がなくても栽培できる野菜作りを紹介しているが、引き続き地域住民のニーズに応えることが期待されており、今回の要請に至った。

2) 期待される具体的業務内容  
・配属先が借りている老人ホーム内の農場(約340㎡)において同僚とともに有機栽培の実験、有機菜園のモデル運営を行う。  
・その農場を利用し、栽培講習会で紹介する堆肥作りや炭作りの実験を行う。  
・簡易プランターを使い養液栽培、有機栽培のデモンストレーションを行う。  
・上記モデル農場及び簡易プランターを使い、有機農業の普及活動及び講習会を実施する。  
・小学校を中心に、教師や生徒を対象にした野菜の有機栽培を指導する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
事務機、苗床用の鉢及びトレイ、鍬、くま手、レーキ、ピック、スコップ、ホース、ジョウロ

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
アテナス事務所長/女性/40代 農業専門家  
技術スタッフ/男性/50代 技術師

5) 業務使用言語  
◎ スペイン語  
( )  
○  
( )

6) 選考指定言語  
☑ 英語 (レベル: )  
□ (レベル: )

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:  
学歴理由: 活動上必須  
経歴理由:  
理由: 有機農業の知識経験が必要のため  
理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
\* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域 気候( 亜熱帯 ) 気温( 18~28 ℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)  
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

記入日:平成 21 年 7 月 10 日

要請番号( JL 224 - 09 - B - 01 )

調査者名: 山本 雅子

国名	職種/指導科目 (コード 1003 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ドミニカ 共和国	職種 野菜栽培	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			3	22 / 3

プログラム番号・名 2240000000001 プロジェクト名  
 その他

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture
	2)配属先名 (日本語) 農牧林研究庁北部センター (英語) Dominican Institute of Agriculture and Forestry Research, North Center
	3)任地 ラ・ベガ 首都( サントドミンゴ )から 北西 方向 125 Km 主要都市( ラ・ベガ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、農務省の管轄の下、安全な農作物の生産や農業技術の向上、土壌保全、森林保全に係る研修をしている。本部(首都)、北部、南部、家畜生産、生物工学・生物多様性センター等があり、北部センターは4つの研究支部と5つの研究農場を所有している。JICAでは、北部センターに対し、5年間の技術協力プロジェクト(2004.10~2009.10)を実施しており、現在JICA専門家とJOCVが活動中である。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 任地は、国内有数の農業生産地だが、持続可能な農業への転換や小規模農家の競争力強化に課題を抱えている。これに対し、JICAは環境保全型農業技術の開発と普及を目的とする「北部中央地域小規模農家向け環境保全型農業開発計画プロジェクト」を実施している。同プロジェクトの対象地域は5つの小地域に分かれており、現在4つの小地域にJOCVが配置されているが、環境保全型農業を普及するためには、任地に密着して継続的に活動できるJOCVの協力が不可欠であるところ、今回の要請に至った。なお、同プロジェクトは2009年10月に終了するが、本JOCVにはプロジェクト終了後の自立発展性確保を視野に入れた活動が期待される。		
	2)期待される具体的業務内容 1. 「環境保全農業プロジェクト」終了後の持続的発展を期待され、既に派遣されているボランティアとともに、定着のためのフォローアップの支援を行う。 2. 当該地域(ラ・トーレ)における零細農家を巡回し、環境保全型農業に関連する一連の指導助言を行う。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 一般農機具		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル プロジェクト所属の農務省普及員 男性	5)業務使用言語 ● スペイン語 ( ) ○ ( )	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴理由:	
	・経歴 実務経歴 2年以上	経験理由:業務に必要なため
	理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(亜熱帯海洋性 ) 気温( 18~34 °C位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)  
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日育 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 8 月 10 日

要請番号( JL 224 - 09 - B - 10 )	調査者名: 山本 雅子
------------------------------	-------------

国名	職種/指導科目 (コード 1003 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ドミニカ 共和国	職種 野菜栽培 指導科目	○新規	◎2年	1	22 / 1
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)	◎交替	○1年	2	22 / 2
		3代目	○ヶ月	3	22 / 3

プログラム番号・名 農業農村開発プログラム	プロジェクト名
--------------------------	---------

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture
	2)配属先名 (日本語) 農牧林研究庁北部センター (英語) Dominican Institute of Agriculture and Forestry Research, North Center
	3)任地 ラ・ベガ 首都( サントドミンゴ )から 北西 方向 125 Km 主要都市( ラ・ベガ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農務省が管轄する研究機関として、安全な農作物の生産や農業技術の向上、土壌保全、森林保全に係る研修を実施している。本部は首都に位置し、その他に北部、南部、家畜生産、生物工学・生物多様性センターなどがある。北部センターは4つの研究支部と5つの研究農場を所有しており、2004年10月から5年間の技術協力プロジェクトが実施され、現在JICA専門家とボランティアが活動中で、今年10月に終了予定である。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同地域はドミニカ共和国有数の農業生産地である。本ボランティアは、JICAが実施する技術協力プロジェクト「北部中央地域小規模農家向け環境保全型農業開発計画」に連携し、当該地域で環境保全型農業普及に寄与することが期待されている。プロジェクトの対象地域は、5つの小地域に分かれており、現在まで3つの小地域にボランティアが一名ずつ配置されている。環境保全型農業普及のため、地元に着目して継続的な活動を実施できるJICAボランティアの協力が不可欠であることから、プロジェクト終了後の持続的発展を考慮し、今回の要請に至った。		
	2)期待される具体的業務内容 1. 環境保全農業プロジェクト」終了後の持続的発展を期待され、既に派遣されているボランティアとともに、定着のためのフォローアップの支援を行う。 2. 当該地域(クトゥブ)における零細農家を巡回し、環境保全型農業に関連する一連の指導助言を行う。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 一般農機具		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル プロジェクト所属の農牧省普及員 男性	5)業務使用言語 ◎ スペイン語 ( ) ○ ( )	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	性別理由:
	学歴理由:
	・経験 実務経験 2年以上 経験理由:業務に必要なため 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 況	気候(亜熱帯海洋性 ) 気温( 18~34℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
域	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし ) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 7月 1日

要請番号( JL 233 - 09 - B - 01 )

調査者名: 小野 由美 調整員

国名	職種/指導科目 (コード 1003 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
グアテ マ ラ	職種 野菜栽培	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			3	22 / 3

プログラム番号・名 2330000000003 プロジェクト名 西部高原地域農村生活改善プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 大統領府企画庁  
 (受入機関名)(英語) SEGEPLAN

2) 配属先名 (日本語) アスペコム:女性活動支援協会 (NGO)  
 (英語) ASPECOM (Acronym in spanish): Association "Women's Thought and Heart"

3) 任地 トニカパン県サンクリストバルトニカパン市  
 首都( グアテマラ市 )から 北西 方向 250 Km  
 主要都市( トニカパン市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 1993年に先住民女性自立支援を目的に設立されたNGO団体。健康的な生活、現金収入向上を目的に有機農業の普及、ジャム・野菜の酢漬け・薬草を使用した製品等販売を進めている。グアテマラ農牧食料省による有機農業プロジェクトの技術協力を得ている。同団体はJICA西部高原地域農村生活改善プログラムと連携する「道の駅」プロジェクトの協賛団体であり、製品化されたジャム・野菜の酢漬けを販売する予定。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 来年度に営業開始予定の「道の駅」に出店する団体の一つ。同所で販売予定の商品開発及び同団体が目指す有機農業普及に対する技術レベル向上のため本要請がなされた。同団体のメンバーが暮らす6つのコミュニティに対する病虫害対策、有機肥料の作り方、有機栽培方法等の実践を通じた指導が期待される。現在はミズコンポスト、牛や鶏の糞による肥料等を使って有機農業を行っているメンバーもいる。将来的には有機野菜を「道の駅」等でも販売したいと考えている。国内の大学の実習生(農学)を定期的に受け入れている。

2) 期待される具体的業務内容  
 1. 6つのコミュニティを巡回、問題分析を進め病虫害対策を含めた有機農業についての技術指導を行う  
 2. 野菜・果物を使ったジャム・野菜の酢漬けの瓶詰めの商品開発(パッケージ・ラベルの開発)  
 3. 商品販売の市場調査・開拓を図る

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 特になし

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・ カウンターパート及び代表者 60代 女性 ・ 女性グループのメンバー(巡回指導対象者 7~8家族) ・ 国立サンカルロス大学実習生(農学) 2~3名(半年間)	5) 業務使用言語 ● スペイン語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (ハル: ) <input type="checkbox"/> (ハル: )
---	--------------------------------------	---

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 性別理由:  
 学歴理由:  
 経歴理由:  
 理由:  
 理由:

活動用交通手段の必要性 ○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車	研修等	形態 N	現職教員特別参加制度 ×
-----------------------------------	-----	---------	-----------------

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(高地温暖気候) 気温( 10~25℃位) 電気安定 不安定 なし  
 況域 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道安定 不安定 なし

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21年 4月 13日

要請番号( JL 336 - 09 - B - 04 )

調査者名: 高田 肇

国名	職種/指導科目 (コード 1003 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ベネズエ ラ	職種 野菜栽培	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			3	22 / 3

プログラム番号・名: プロジェクト名  
 その他:

1) 受入省庁名(日本語) NGO  
 (受入機関名)(英語) Non-Governmental Organizations

2) 配属先名 (日本語) フェ・イ・アレグリア財団 ヘスス・オブレロ高等専門学校 グァナリート分校  
 (英語) "Fe y Alegria" Foundation, Jesus Obrero College in Guanarito

3) 任地 ポルトゲサ州グァナリート市  
 首都( カラカス )から 南西 方向 490 Km  
 主要都市( グァナレ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 NGOフェ・イ・アレグリア財団は人的資源開発を目指して南米14カ国で活動を行っており、当国では年間約10万人の職能開発や基礎教育に資する活動を展開している。同NGOが運営するヘスス・オブレロ高等専門学校は、2008年10月に教育省から認可がおりたばかりの半官半民の専門学校で、技術者の育成を目的として、2009年度から徐々に活動が開始されている。年間の事業予算は約52万2千ドル(約24万3千ドル)。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 ヘスス・オブレロ高等専門学校グァナリート分校は12の教育課程を教育省に申請しているが、農牧生産、工業機械、植林技術の3学科のみが認可され、2009年度よりこれら3つの教育課程で活動が開始されている。農牧生産学科では各クラス週8時間の農業実習を実施し、同学科の教員がこれを担当しているが、当地の伝統的な野菜の他に商品価値の高い野菜の導入を目指しており、その栽培方法等について助言を与えることができる人材が求められている。また、当地は野菜栽培に適した土地であるものの牧畜や粗放農業が主に行われている現状にあることから、同校における活動を通じて、当地の野菜栽培の活性化へ寄与することも期待されている。

2) 期待される具体的業務内容  
 1. 週8時間の農業実習を同僚教師と共に担当する。  
 2. 当地の中心作物はトマト、ニンジン、タマネギ、キュウリ、ピーマン等であるが、当地で栽培可能な他の野菜の導入を図る。  
 3. 実習菜園の環境整備を支援する。  
 4. ピニールハウスや育苗施設の設置について助言を与える。  
 5. 周辺農家を訪問し、必要に応じて野菜栽培等についての助言を与える。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 トラクター(2台)、播種機、耕運機、噴霧器、トラック、その他基本的な農機具。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教師3名(大卒)※現在リクルート中 労働者4名(男、20歳代~40歳代)	5) 業務使用言語 ● スペイン語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
---	--------------------------------------	--

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 性別理由:  
 ・学歴 大卒 農学 学歴理由: 専門的な知識が求められるため  
 ・経験 実務経験 2年以上 経験理由: 実践的な指導が求められるため  
 理由:  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		N	×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域況 気候(温帯 ) 気温( 15-30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)  
 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 7 月 11 日

要請番号( JL 506 - 09- B - 18 )

調査者名:政金 直人

国名	職種/指導科目 (コード 1003 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エチオピア	職種 野菜栽培	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			3	22 / 3
				年 月 日から	

プログラム番号・名: 農業・農村開発プログラム  
 プロジェクト名:

配属先概要

- 1) 受入省庁名(日本語) オロミア州職業訓練校局  
 (受入機関名)(英語) Oromia TVET Agency
- 2) 配属先名 (日本語) チロ農業技術短期大学  
 (英語) Chiro Agricultural TVET College
- 3) 任地 アッサブタファリ  
 首都( アジスアベバ )から 東 方向 320 Km  
 主要都市( ナザレット )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 2 時間)
- 4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 1990年農業高校として設立。2001年の教育制度改定にともない3年制短大となった。自然科学部、動物科学部、植物科学部の3学部で構成されている。2007/2008年度の生徒数は約1,000名、教員数41名。卒業生の約80%は州の農業普及員になっている。平成7年度から12年度の間に4名の協力隊員派遣実績がある。

要請概要

- 1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 エチオピアは国民の約85%が農業従事者である。エチオピア政府は全国に25校の農業技術短大を有し、D.A.(Development Agents)と呼ばれる農業普及員を育成し、農民への農業技術普及やサービスに力を入れている。しかしながら、必要とされる普及員の絶対数の不足、短大での指導内容と現場でのニーズが一致しない、現場で活用できる技術や経験の不足等が課題となっており、園芸作物を主とした野菜栽培全般の理論及び実習の指導が求められ要請となった。
- 2) 期待される具体的業務内容  
 植物科学部に属し以下の業務を予定している。  
 1. 同僚とともに、園芸作物・野菜栽培に関する実習授業を行う。  
 2. 卒業後、農業普及員となる学生に対して、農民に普及する実用的な知識、技術を指導する。  
 3. 同僚が実習授業を行えるよう指導する。
- 3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 農場、実験室
- 4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
 学部長 男性  
 同学部教員 8名
- 5) 業務使用言語  
 ● 英語  
 ( )  
 ○ ( )
- 6) 選考指定言語  
 英語 (レベル: )  
 (レベル: )

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:	
学歴 大卒 業務関連分野	学歴理由: 同僚教員は大卒以上のため
経歴 実務経験 3年以上	経歴理由: 実習指導が求められているため
理由:	
理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(熱帯性気候) 気温( 15-30℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)  
 電話(☐インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 8 月 12 日

要請番号( JL 545 - 09 - B - 16 )

調査者名: 椎谷健一、末満広志

国名	職種/指導科目 (コード 1003 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウガンダ	職種 野菜栽培	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Vegetable Growing			3	22 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 5450000000017 プロジェクト名  
 地場産業強化・振興

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 内務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Internal Affairs
	2) 配属先名 (日本語) セントジュードファミリープロジェクト (英語) St.Jude Family Project NGO
	3) 任地 マサカ県ブセンセ 首都(カンバラ)から 南西 方向 160 Km 主要都市(マサカタウン)までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 環境に配慮した有機農業普及を通じたコミュニティ活性化及び近代農業技術の習得から現金収入向上を目的に、1993年に設立されたNGOである。1) 有機栽培・農業開発、2) 家畜飼育、3) トレーニング等を通じた地域への還元、4) 食品加工・経営企画を主たる活動として、地域における農業開発の拠点としての機能を有している。年間予算は約187,000米ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 前任のJOCV(村落開発普及員)は2009年3月に派遣され、同僚スタッフと一緒に展示園場と家畜飼育などの世話をしながら、配属先の実施する農業研修や、配属先周辺の農家への巡回訪問を実施している。配属先は、ウガンダにおける現行の農業の技術および知識については既に問題ないレベルである。有料で実施されている農業研修も、応募者が多く、非常に活発に実施されており、マサカ県庁の農業担当官からもサービスプロバイダとして高い評価を得ている。そのような中、新たな農作物品種の紹介や日本の農業技術の紹介などによる、さらなる配属先のレベルアップのために農業知識のあるJOCV(野菜栽培)の派遣要請となった。		
	2) 期待される具体的業務内容 スタッフとモデル農場で一緒に働きながら、下記の業務を実施する。 1. 堆肥作りやぼかし肥料作りなどへの助言 2. 新しい種類の野菜やハーブの紹介 3. 専門家の助言を得ながらのネリカ米栽培の紹介 4. 対象農民に対する農業指導への協力 5. マサカ県や近郊に派遣されているJOCVとの技術交流を通じた農民への農業技術の普及へのアドバイス		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 モデルファーム、研修施設、コンピューター、プリンター		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル Director(女性、40代)、スタッフ25名 地域住民(英語が話せない者もいる)	5) 業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ その他 (ガンダ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	・学歴 高卒 農学	性別理由: 学歴理由: 農業に関する助言が必要のため	
	・経験 社会経験 2年以上	経験理由: 組織の中で活動するため	
		理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ○単車 ●自転車			N	×
地域を巡回するため				
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)				
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)				
概地況域	気候(亜熱帯 ) 気温( 10-30℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)		
	電話(□インターネット可 □通話可 ☑不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)		

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 8 月 4 日

要請番号( JL 551 - 09- B - 22 )

調査者名: 名村 欣哉

国名	職種 / 指導科目 (コード 1003 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ザンビア	職種 野菜栽培 指導科目	●新規	●2年	1	22 / 1
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)	○交替	○1年	2	22 / 2
		○ヶ月	3	22 / 3	年 月 から

プログラム番号・名 551000000009 プロジェクト名  
 農業生産拡大支援プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 農業共同組合省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Cooperative

2) 配属先名 (日本語) ムピカ農業学校  
 (英語) Zambia College of Agriculture Mpika

3) 任地 北部州ムピカ  
 首都( ルサカ )から 北 方向 650 Km  
 主要都市( ムピカ )までの交通手段及び所要時間( バイク で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 農業協同組合省下の2年制の農業短期大学で講師数約15名、生徒約200名。ムピカの街から20kmほど離れた郊外に位置する。学生は家畜飼育・作物・基礎科学・農業工学・農業経営・村落開発・家政学などの理論・実践を学んでいる。実習で収穫できた野菜や肉の販売も実施し、その一部を学校の運営にあてている。10年ほど前に農業協同組合隊員が配属され、農業経済学の授業を受け持っていた。年間予算は約US \$225,000

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 同農業学校では監督省庁である農業協同組合省からの予算配分、管理が十分ではなく、作物部門においては専属の講師が2名いるが、随時の職員を雇用して不足を補っている状況であり、講師が絶対的に不足している。学校は3年制のコースの導入も予定しており、隊員は作物学部門において、主に実習を中心として講義を受け持つことを期待されている。

2) 期待される具体的業務内容  
 作物学部門では土壌学・作物学・園芸学(野菜・果樹・花卉)・アグロフォレストリー・種子学等の講義、実習を行っている。  
 ①隊員は、主に園芸分野を担当し、生徒に対して農場での実習指導を行う。  
 ②また教室での園芸分野の講義も担当する。  
 ③作物部門としてトウモロコシ・キャベツ・トマト・タマネギなどの各種野菜やオレンジなどの柑橘類果樹、レモン、マンゴー、グアバ等の栽培も行っており、栽培管理の指導も行う。  
 ④同僚講師と積極的に知識の共有を図る。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 オーバーヘッドプロジェクター、ビデオデッキ、  
 トラクター、2~4haの農場

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚:作物部講師 2名 農業学校卒業生 30歳代~50歳代。 指導対象者:高等学校を卒業した学生 18歳~20歳代後半	5) 業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (ハ・N: ) <input type="checkbox"/> (ハ・N: )
---	-----------------------------------	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由: \_\_\_\_\_  
 学歴理由: 学校で教員として指導するためには最低限必要  
 経歴理由: \_\_\_\_\_  
 理由: 学校が町の郊外にあるため生活上単車が必要  
 理由: \_\_\_\_\_

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車 学校が町の郊外にあるため生活上単車が必要。			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(サバナ ) 気温( 5-35℃位) 電気( 安定 不安定 なし )  
 況域 電話( インターネット可 通話可 不良 なし ) 水道( 安定 不安定 なし )

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 8月 4日

要請番号( JL 551 - 09 - B - 23 )

調査者名: 名村 欣哉

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ザンビア	職種 野菜栽培 (コード 1003 )	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Vegetable Growing			2	22 / 2	
指導科目(英)	3	22 / 3				

プログラム番号・名 5510000000014 プロジェクト名  
 食糧安全保障支援プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 財務国家計画省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Finance and National Planning

2) 配属先名 (日本語) パディック (NGO)  
 (英語) PADIC(Programme Against Discrimination in Communities)

3) 任地 カフェ  
 首都( ルサカ )から 南西 方向 45 Km  
 主要都市( カフェ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 同NGOは農業、教育、保健分野を中心に小規模農家をはじめ女性グループへの支援、コミュニティースクールやHIV/AIDSに関する支援等、各プロジェクトを通じて4州11郡に幅広く活動を展開している。農業に関する支援では小規模農家を対象に十分な食糧の確保及び現金収入向上を図るため、農業の拡大及び市場の開拓等を行っている。スタッフは9名で年間予算は約US\$620,582。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 同NGOが支援している小規模農家には野菜栽培等に関する知識が低いため、その生産性が低い上にザンビア政府が比較的乾燥に弱いメイズの生産に偏重した栽培体系を長年奨励してきたため、食糧の供給が不安定である。農業に関するある程度の知識を持ったスタッフはいるものの、より実践的で効果的な野菜栽培等を指導できる人材が必要とされている。プロジェクトが4州に展開しているため、同任地のモデル化及び各州へのサポートも期待されている。

2) 期待される具体的業務内容  
 同僚とともに、団体が実施するプロジェクトに係る以下の活動の支援を行う。  
 ① 農家に対して野菜栽培に関する巡回指導、監督  
 ② 農家に対して野菜栽培に関するワークショップの開催

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 特になし。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル スタッフ総数9名 男性5名 女性4名 ダイレクター 男性 40歳代前半 プログラムマネージャー 30歳代後半 指導対象者:小規模農家、女性グループ	5) 業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (I・N: ) □ (I・N: )
--	-----------------------------------	--

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 性別理由:  
 ・学歴 大卒 農学 学歴理由:業務上必要  
 ・経験 実務経験 2年以上 経験理由:指導上必要  
 ・小型自動二輪以上 理由:巡回先が広範囲に点在するため  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車	a	N	x

巡回先が広範囲に点在し、遠い地域では15km以上離れているため活動上単車が必要。

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(サバンナ ) 気温( 5-35℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)  
 況域 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 1 日

要請番号( JL 603 - 09 - B - 06 )

調査者名: 渡邊 次男

国名	職種 / 指導科目 (コード 1003 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ジブチ	職種 野菜栽培	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1	年 月 から
	指導科目			2	22 / 2	
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			3	22 / 3	

プログラム番号・名 プロジェクト名

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業・畜産・漁業・水資源管理省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Livestoc and Fisheries ,Charge of Water Resources
	2) 配属先名 (日本語) 農業局ジキル地域開発支所 (英語) Dikhil Rgional Development of Agriculture
	3) 任地 ジキル市 首都( <span style="margin-left: 100px;">ジブチ</span> )から <span style="margin-left: 100px;">南西</span> 方向 <span style="margin-left: 100px;">120 Km</span> 主要都市( <span style="margin-left: 100px;">ジブチ</span> )までの交通手段及び所要時間( <span style="margin-left: 100px;">車</span> で約 <span style="margin-left: 100px;">2</span> 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ジキル地域はジキルを中心に4区で構成されており、同支所は全区を管轄し、農業部門の野菜、畜産(牛・ヤギ・羊)、灌漑等を担当している。年間予算は25万円(50万FDJ)。農業部門の技術者として2009年12月までモロッコ人が1名派遣されているが、その後の外国人着任の予定はない。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ジキル地域の土壌は大小無数の岩石で構成されており、作物栽培のできる地域はごく限られている。また土壌がアルカリ性で塩分を多く含み、栽培には難しい環境である。農業省ではこの地における乾燥地農業に取り組んでおり、日本人ボランティアを要請し共に活動することを求められている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1 塩分・アルカリ成分を測定し、同地域の土壌を対象にした野菜栽培。 2 ジブチ人とともに土壌の改善を図る。 3 同地域の野菜栽培の普及を図る。 4 自ら農作業に従事し実践する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 塩分濃度測定器ACTIVMETRE PNT 3000, PH測定器PM METRE HI99121と標準液ph4, ph7, ph10		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 支局長1名(男性)、事務職員5名、農業改良普及員3名、運転手1名	5) 業務使用言語 ● フランス語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴理由:	
	経験理由: 野菜栽培経験者	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		P	x

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(乾燥地砂漠気候) 気温( 25~45℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)  
 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(  JV  日青  SV  日SV )  
 短期(  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 1 日

要請番号( JL 603 - 09 - B - 07 )		調査者名: 渡邊 次男			
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
ジブチ	職種 野菜栽培 (コード 1003 ) 指導科目	○ 新規 ○ 1年 ○ 2ヶ月 ○ 2代目	◎ 2年 ○ 1年 ○ 2ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			1 22 / 2	年 月 から
プログラム番号・名		プロジェクト名			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業・畜産・漁業・水資源管理省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Livestoc and Fisheries ,Charge of Water Resources				
	2) 配属先名 (日本語) 農業局アリサビエ支所 (英語) Ali Sabieh Rgional Development of Agriculture				
	3) 任地 アリサビエ市 首都( ジブチ )から 南西 方向 95 Km 主要都市( ジブチ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2.5 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) アリサビエ農業試験場での野菜栽培、各国営農場の管理、農民への技術指導予算:836,158USD 外国の援助状況:国際連合食糧農業機関(FAO)より野菜種子の提供が一部あり。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 政府は農業開発を国家戦略の優先課題としているが、利用できる水が限られ、土壌は塩類を含んだアルカリ性粘土質で夏季には45度を超える酷暑といった状況の為、安定生産の障害となっている。栽培野菜品目は、トマト・オクラ・玉ねぎ・葉レタス・ナス・トウモロコシ・大豆・メロン・青唐辛子などがあるが品目が少なく、栄養障害や病虫害がある農家は他地域との交流が少なく技術が未熟なため、基礎的な技術の普及が望まれる。前任者は、アリサビエ農業試験場において18種類の日本の野菜を栽培した。また、堆肥作りを指導し、灌漑法としては畝間灌漑や点滴灌漑に試験的に取り組んだ。				
	2) 期待される具体的業務内容 1 前任者が取り組んだ18種類の野菜以外の野菜の栽培可能性を調べる。 2 前任者が調べた生育可能な野菜を各農家へ普及する。 3 アリサビエの農業の問題点を抽出し改善する。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 試験場には、塩分濃度測定器、PH濃度測定器、一輪車、スコップ、ジョウロ、メジャー、つるはし、鎌、剪定バサミ、温度計、地温計がある。				
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 責任者1名 管理者2名 責任者は50代で日本での農業研修を受講済み 管理者は30代と40代で、2交代制で試験場を管理する。		5) 業務使用言語 ◎ フランス語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: 学歴理由: ・経験 実務経験 経験理由: 栽培また指導を行うため。 理由: 理由:				
活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○ 有 ◎ 無 ○ 車輦 ○ 単車 ○ 自転車				x	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(乾燥地砂漠気候 ) 気温( 25~45℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)		電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)		

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○ESV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 7月 1日

要請番号( JL 603 - 09 - B - 09 )

調査者名: 渡邊 次男

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ジブチ	職種 野菜栽培 (コード 1003)	○新規 ●交替 5代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目			1	22 / 1	日系/短期等 年 月 から
	職種(英) Vegetable Growing			2	22 / 2	
指導科目(英)	3	22 / 3				

プログラム番号・名 \_\_\_\_\_ プロジェクト名 \_\_\_\_\_

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) 農業・畜産・漁業・水資源管理省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Livestoc and Fisheries ,Charge of Water Resources

2) 配属先名 (日本語) 農業省アンプリ試験場  
 (英語) Agricultural and Foretry Expprimental Station

3) 任地 ジブチ  
 首都( ジブチ )から 南 方向 5 Km  
 主要都市( ジブチ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0.3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 同試験場では、半乾燥地農業(オアシス農業)の振興を実施している。主な事業は農園プロジェクトの実施、砂漠化防止で、現在の農場の主な業務は庭木の苗木栽培である。現在協力隊員が2名いるが他のボランティアはいない。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 同国は厳しい自然環境のため、耕作可能面積は国土の1%、放牧地は国土の10%にとどまっており、農業は全体的に未発達な状況である。ジブチにおける食料自給率は約3%で、食料安全保障上の問題を抱えており、ジブチ政府は食料安全保障への対応力を強化させるために、農業開発を国家戦略の優先課題としている。要請隊員には先代隊員が実施してきた試験栽培の定着化及び周辺農家への継続した普及活動が求められている。

2) 期待される具体的業務内容  
 1 試験農場で農作物栽培を定着化すると共に新しい農作物の可能性を模索する。  
 2 有機堆肥などを利用した土壌の改良。  
 3 圃場内のph、塩分濃度の測定。  
 4. 病虫害の防除、自然農薬の試験(ニーム葉、ニンニク、唐辛、酢等使用)

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 鋤、スコップ、フォーク、一輪車

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
 約25名の職員(うち秘書5名)  
 圃場管理は10p名程度(経験10~20年)

5) 業務使用言語  
 ● フランス語 ( )  
 ○ ( )

6) 選考指定言語  
 英語 (レベル: )  
 (レベル: )

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由: \_\_\_\_\_  
 学歴理由: \_\_\_\_\_  
 経験 実務経験 2年以上 経験理由: 野菜栽培方法改良普及のため。  
 理由: \_\_\_\_\_  
 理由: \_\_\_\_\_

活動用交通手段の必要性

○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車

研修等 \_\_\_\_\_ 形態 \_\_\_\_\_ 現職教員特別参加制度 \_\_\_\_\_

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(乾燥性砂漠気候) 気温( 25~45℃位) 電気(□安定 不安定 □なし)  
 水道(□安定 不安定 □なし)  
 電話(□インターネット可 通話可 □不良 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 7月 24日

要請番号( JL 621 - 09- B - 05 )

調査者名: 深林 真理

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
マリ	職種 野菜栽培 (コード 1003 )	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	指導科目			1 22 / 1	年 月 から
	職種(英) Vegetable Growing			2 22 / 2	
指導科目(英)	3 22 / 3				

プログラム番号・名 プロジェクト名

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture
	2) 配属先名 (日本語) セグー州農業支局 (英語) Direction of Agriculture in Segou Region
	3) 任地 セグー州セグー県サンザナ市 首都( バマコ )から 北東 方向 275 Km 主要都市( バマコ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業省の地方機関である農業支局は管轄地域内での農民支援を実施しており、各県、郡レベルにおいても農業普及員(CAP)を配置している。セグー州ではJICAの開発調査(2000年~2007年)により砂漠化防止を目的とした持続的農村開発モデルが確立された。マリ政府は2008年より日本の見返り資金を活用し農業支局を中心に同モデルの全州展開を実施中である。2008年度はJICA専門家による支援も実施された。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) セグー州農業支局が中心となって進めている砂漠化防止プロジェクトでは、JICAの協力により養成されたCAPが住民ニーズに合わせた支援を住民主体で進めている。これまでのJICAの協力、マリ政府自身による普及が2010年をもって終了することから、今後住民による持続的実施ならびに発展が期待されている。これまでの協力コンポーネントである識字教室、井戸、家畜用のワクチン接種場、野菜栽培、苗畑、植林といった生活改善のための基礎整備を持続的な発展につなげるために、現場レベルでのきめ細かな指導・サポートが必要とされており、本要請にいたった。同配属先に、村落開発普及員、土壌肥料隊員の派遣が予定されている。	
	2) 期待される具体的業務内容 配属先管轄市のひとつであるサンザナ市の村を活動対象地域とし、サンザナ市役所及び市役所付農業省技官と相談の上、コミュニン内にある複数の村を選定し、巡回しながら以下の活動を実施する。 1. 女性グループを対象に、小規模菜園や家庭菜園で野菜作りの支援を行う。(主要栽培品種は、トマト、ピーマン、オクラ等) 2. 野菜栽培における病虫害などの基礎知識の普及を行う。 3. 地域での野菜消費拡大を目指した栄養講座や住民の好みにあったレシピの提案を行う。 4. 対象地域において新たに野菜栽培の導入を考えている村に対し、野菜栽培の基礎知識などの助言・サポートを行う。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先スタッフ・同僚: 農業普及員及び市役所付農業省技官 指導対象者: 農民	5) 業務使用言語 ◎ フランス語 ( ) ○ その他 (バンバラ語)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴理由:	
	経験理由:	
	理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
\* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(サバンナ北スーダン) 気温( 17~43℃位) 電気(☐安定 ☑不安定 ☐なし)
	電話(☐インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☐安定 ☑不安定 ☐なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 3 月 27 日

調査者名: 糸川民幸、河合勝寿

要請番号( JL 630 - 09 - B - 07 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モザン ビーク	職種 野菜栽培 (コード 1003 ) 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 22 / 3 2 / 3 /	年 月 から

プログラム番号・名: 技術・職業教育強化プログラム  
 プロジェクト名:

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育文化省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Culture
	2) 配属先名 (日本語) イニャムースア農業学校 (英語) Inhamusua Agriculture School
	3) 任地 イニャムースア 首都( マプト )から 北 方向 480 Km 主要都市( イニャンバナ )までの交通手段及び所要時間( 船 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 地域を代表する農業・畜産専門学校。小学校を卒業した生徒が初級課程に入学できる。従来から行われていた初級課程(3年)に加え、2008年より中級課程(3年)が設けられた。生徒たちは専門である農業・畜産・森林・灌漑・経済のコースとともに一般教養として語学、自然科学なども学んでいる。生徒数436名に対し39名の教員が在籍。2006年よりアメリカ平和部隊の協力が始まり、現在2代目が活動中。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 モザンビークにおいてはその就業人口の約8割が農業従事者であり、農業は国内で最も重要な産業と言える。同農業学校で学んだ生徒は将来の農業従事者・指導者としての活躍が期待されるため、より正確で有用な知識、技術を身に付けることが求められているが、予算の都合上十分な教育環境が整えられていない。そこで教育環境整備や実習内容の充実を図るために日本人ボランティアが要請された。

2) 期待される具体的業務内容  
 1. 新しい技術・品種を積極的に導入し、充実した内容の農業実習指導を行う。  
 ・小規模灌漑やポンプ、収穫物の保存法や加工法、堆肥の知識があればより良い。  
 2. 分かりやすい教材、指導法を提示する。  
 3. 生産性、質の向上に向けた適切なアドバイスをを行う。  
 4. 圃場の管理指導  
 5. 可能であれば日本の野菜料理の紹介などを通じた文化交流を行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 学校設備:トラクター1台、車1台、電動ポンプ、パソコン12台

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農業実技教員8名 平均年齢35歳 指導対象:生徒、同僚(高卒)	5) 業務使用言語 ● ポルトガル語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (V・N: ) □ (V・N: )
---	---------------------------------------	--

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 性別理由: \_\_\_\_\_  
 学歴 大卒 農学 学歴理由: 農業学校で指導を行うため  
 経験理由: \_\_\_\_\_  
 理由: \_\_\_\_\_  
 理由: \_\_\_\_\_

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)  
 概地 気候(亜熱帯 ) 気温( 15~35 ℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)  
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 8 月 10 日

要請番号( JL 642 - 09- B - 24 )

調査者名: 岩田 守雄

国名	職種/指導科目 (コード 1003 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
セネガル	職種 野菜栽培	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Vegetable Growing			3	22 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名: 持続的資源管理による地方村落開発プログラム  
 プロジェクト名: 水の防衛隊

**配属先概要**

1) 受入省庁名(日本語) 農業省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture

2) 配属先名 (日本語) ルーガ県農村開発事務所  
 (英語) Louga Rural Development Service

3) 任地 ルーガ州ルーガ県コキ郡チャメヌ村  
 首都( ダカール市 )から 北東 方向 238 Km  
 主要都市( ルーガ市 )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.8 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 県の農業開発計画立案への参画と実施支援、農業基本データの収集を行なう機関。隊員はルーガ市所在の同配属先から、コキ郡農村開発支援センターへ出向となる。同センターは、活動対象地域の住民組織支援全般の調整機関であり、農業、畜産、林業等農村開発関連政府機関からの農村レベルでの技術職員の出向受入機関である。同地域ではJICAやセネガル政府、NGO等が地方給水や農村開発支援を実施してきている。

**要請概要**

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 JICAは以前より同地域に隊員を派遣し住民の収入創出支援(野菜栽培、家畜飼育、果樹植林、染色、裁縫)を断続的に行ってきた他、給水施設建設や水施設維持管理強化、住民の生活改善の試みで成果を得てきた。この普及・定着を目指して2008年よりルーガ州で「農村自立発展プロジェクト」を開始している。このプロジェクトと目標を共有し、過去の援助で整備された土台の上で水管理組合や各住民組織が行う生活改善の取り組みへの支援の必要から要請に至った。同任地に事前調査と活動導入を行なう短期隊員(2008.12~2009.07)1名および同プログラム村落開発普及員隊員1名も要請されている。

2) 期待される具体的業務内容  
 JICAプロジェクトサイト(ムフム村)の取り組みを参考としつつ、任地および周辺数ヶ村において水管理組合や女性グループ、その他住民組織や個人の志望者による、  
 1.小規模野菜栽培(雨季栽培および乾季の節水栽培)に共に携わりながら技術的な助言や協力を行う。  
 2.生活廃水を利用した家庭菜園(軒先農業)の紹介と試験、普及を試みる。  
 3.可能であれば小規模家畜飼育(ヤギ、羊、鶏など)用の飼料栽培・加工および保存支援を試みる。  
 また、同任地に派遣される隊員(村落開発普及員)との協力により、上記活動資金の確保や栽培された野菜、家畜飼料の販路確保、売上等の管理と再生産のための貯蓄の推奨など収入の有効活用などにも貢献する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 特になし

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 【ルーガ県農村開発事務所】所長1名、農業技官3名 【コキ郡農村開発支援センター】所長1名、牧畜技官1名、植林技官1名 【活動村】女性グループ、水管理組合など各種住民組織	5) 業務使用言語 ● フランス語 ( ) ○ その他 (ウオロフ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
--	---	--

**資格条件**

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由: \_\_\_\_\_  
 学歴理由: \_\_\_\_\_  
 経験理由: \_\_\_\_\_  
 理由: \_\_\_\_\_  
 理由: \_\_\_\_\_

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ○単車 ●自転車 5~10km範囲で数ヶ村を巡回しての活動となるため			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

**概地況** 気候(ステップ ) 気温( 15-45℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)  
 電話( □インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし ) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 1 月 5 日

要請番号( JL 012 - 09 - B - 23 )

調査者名: 田中 智穂

国名	職種/指導科目 (コード 1004 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
フィリ ピン	職種 果樹栽培	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Fruit Growing 指導科目(英)			3	/

プログラム番号・名: 生計向上プログラム  
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 国家経済開発局-ボランティア調整局  
 (受入機関名)(英語) NEDA-PNVSCA

2) 配属先名 (日本語) タブク市農業事務所  
 (英語) Municipal Agricultural Services Office of Local Government Unit of Tabuk

3) 任地 カリンガ州タブク市  
 首都( マニラ )から 北 方向 350 Km  
 主要都市( ツゲガラオ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 タブク市はカリンガ州の首都市で、低地と丘陵・山岳地とでなっているが、特に丘陵・山岳地の住民は低所得層が多い。農業事務所では特に低所得者を重点的に農業技術指導を実施、また、市民に対して野菜種子・家畜・養殖用稚魚の配布も行い市民の収入向上を目指し支援を行っている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 カリンガ州には丘陵・山岳地特産の「カリンガ・オレンジ」という柑橘種(ポンカンのような果実)があるが、これは香り・味ともに良く高値で取引されるため、丘陵・山岳地農民の現金収入源として好んで栽培される。しかし適切な栽培方法・選抜・品種改良が行われていないため、果樹の劣化が進み、また市内の果樹園では果樹の幹に「白いカビ状のもの」が広く繁殖してしまっており、商品として販売可能なカリンガ・オレンジの生産が難しくなっている。特にこの果樹病の防止・予防技術が必要とされ隊員の要請となった。

2) 期待される具体的業務内容  
 ・市営の果樹園で果樹栽培技術者と共にカリンガ・オレンジの病虫害(特に白カビ状のもの)の繁殖防止・予防の研究・実験を行う。また得られた結果を用いて市内の果樹農家に対して、病虫害の繁殖防止・予防技術の指導を行う。  
 ・病虫害に汚染されていないカリンガ・オレンジ母樹から穂木を確保する。この穂木を台木へ接木することにより健康なカリンガ・オレンジを増やす。このような栄養繁殖法技術を果樹栽培技術者に対して指導する。またこの方法によって健康なカリンガ・オレンジ樹木を増やしていく。  
 (参考)市営果樹園で栽培されているその他果樹:カラマンシー(サイズが柚子大の柑橘類)、マンゴー、ザボン、ランブータン、カカオ等

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 2haの市営果樹デモファーム内遮光育種スペース(40平米)、噴霧器(手動)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農業普及員:男性 50歳代 果樹園栽培技術者:50代女性、大卒(農学系)	5) 業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ その他 (イロカノ語)	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (ハル: ) <input type="checkbox"/> (ハル: )
---	--	---

資格条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:	
学歴 高卒	学歴理由: 英語を使う機会もあるため
経験 実務経験 2年以上	経験理由: 果樹(柑橘類)栽培技術・経験が必要のため
理由:	
理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(熱帯性 ) 気温( 20-30℃位) 電気(□安定 ●不安定 □なし)  
 電話(●インターネット可 ●通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ●不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 8 月 10 日

要請番号( JL 060 - 09- B - 23 )

調査者名: 立田 亜由美

国名	職種/指導科目 (コード 1004 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ネパール	職種 果樹栽培 指導科目	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Fruit Growing 指導科目(英)			2	22 / 3	
	3			/		

プログラム番号・名 0600000000010 プロジェクト名  
 農業農村開発プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業協同組合省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Co-operatives
	2) 配属先名 (日本語) カブレパランチョーク郡農業開発事務所 (英語) District Agriculture Development Office, Kavre Palanchowk
	3) 任地 カブレパランチョーク郡 ドウリケル市 首都( カトマンズ )から 東 方向 32 Km 主要都市( カトマンズ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、カトマンズ近郊の肥沃な田園地帯を擁する郡の農業開発事務所である。同地域の主要な生産物の一つに柑橘(ポンカン)があり、配属先では数カ所のポケットエリアを設け、農民の組織化及び技術指導によって柑橘栽培を主とした農家の収入向上を図っている。年間予算は約1400万円。野菜栽培を推進する米国系NGO等の技術支援も受けている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 上述の通り、柑橘は同郡において市場へのアクセスが比較的良好な地域で主要な商品作物となっている。しかし、初期に作られた果樹園には樹齢25~30年の実生の樹木が多く、樹勢の衰えが課題とされている。現在、配属先がポケットエリアとする指定村では農民グループが結成され、柑橘加工品の生産など新たな事業展開を構想しているところであるが、配属先には同地域に密着し柑橘栽培に特化して技術支援する人材がいないため、今回の要請に至った。
	2) 期待される具体的業務内容 配属先がポケットエリアとして指定する村落の農民グループ対象に以下の活動を行う。 (1) 柑橘果樹園の観察、評価を行い、課題をまとめ、配属先に報告する。 (2) 農民グループに対して柑橘果樹園管理のトレーニングを企画、実施する。 ※中央園芸センターに要請中のシニア海外ボランティアとの連携も期待されている。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 果樹栽培に必要な基本的な道具はそろっている。

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 所長 (50歳代 男性) 技官 (果樹、植物病理、農業普及 30~40歳代 男性各1名) 技官補 (20~40歳代 男女 5名) ほか、郡内6カ所の支所には各2名の技術スタッフが在駐	5) 業務使用言語 ● ネパール語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
------------------	--	--------------------------------------	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・学歴 専門学校卒 農学	学歴理由: 柑橘栽培の専門知識が必要
		経験理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ○単車 ●自転車		P	×

遠方への巡回は公共交通機関を利用する。  
 \* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 況	気候(亜熱帯 ) 気温( 0-35℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし ) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)
--------	---



平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 28 日

要請番号( JL 621 - 09 - B - 09 )		調査者名: 深林 真理				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
マリ	職種 果樹栽培 (コード 1004 )	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Fruit Growing			2	22 / 2	
指導科目(英)	3	22 / 3				
プログラム番号・名		プロジェクト名				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture					
	2) 配属先名 (日本語) セグー州農業支局 (英語) Direction of Agriculture in Segou Region					
	3) 任地 セグー州セグー県サンザナ市 首都( バマコ )から 北東 方向 275 Km 主要都市( バマコ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3.5 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業省の地方機関である農業支局は管轄地域内での農民支援を実施しており、各県、郡レベルにおいても農業普及員を配置している。セグー州ではJICAの開発調査(2000年~2007年)により砂漠化防止を目的とした持続的農村開発モデルが確立された。マリ政府は2008年より日本の見返り資金を活用し農業支局を中心に同モデルの全州展開を実施中である。2008年度はJICA専門家による支援も実施された。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) セグー州農業支局が中心となって進めている砂漠化防止プロジェクトでは、JICAの協力により養成されたCAPが住民ニーズに合わせた支援を住民主体で進めている。これまでのJICAの協力、マリ政府自身による普及が2010年をもって終了することから、今後住民による持続的実施ならびに発展が期待されている。これまでの協力コンポーネントである識字教室、井戸、家畜用のワクチン接種場、野菜栽培、苗畑、植林といった生活改善のための基礎整備を持続的な発展につなげるために、現場レベルでのきめ細かな指導・サポートが必要とされており、本要請にいたった。同配属先には、村落開発普及員、野菜栽培隊員の派遣が予定されている。					
	2) 期待される具体的業務内容 配属先管轄市のひとつであるサンザナ市の村を活動対象地域とし、サンザナ市役所及び市役所付農業省技官と相談の上、コミュニティ内にある複数の村を選定し、巡回しながら以下の活動を実施する。 1. 農民の副収入向上のための果樹栽培の導入支援を行う。 2. 接ぎ木の技術指導も求められている。 3. 果樹栽培を実施している女性グループにたいして支援を行う。 4. 気候・風土に適し、持続性が確保される果樹栽培の可能性を検討する。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし					
要 請 概 要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先スタッフ:同僚:農業普及員(CAP)、市役所付農業省技官 指導対象者:農民	5) 業務使用言語 ◎ フランス語 ( ) ○ その他 (バンバラ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )			
	資格条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: 学歴理由: 経歴理由: 理由: 理由:					
活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度		
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車				x		
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概地 況域	気候(サバンナ北スーダン) 気温( 17~43℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし) 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)					



平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(  JV  日青  SV  日SV )  
 短期(  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 8 月 11 日

要請番号( JL 745 - 09 - B - 04 )

調査者名:新留 直子

国名	職種/指導科目 (コード 1004 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
キルギス	職種 果樹栽培	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1	22 / 1	年 月 から
	指導科目			2	22 / 2	
	職種(英) Fruit Growing 指導科目(英)			3	22 / 3	

プログラム番号・名: **プロジェクト名**  
**コミュニティ活性化プログラム**

1) 受入省庁名(日本語) **イシククリ州ジェティオグズ県サルー村役場**  
 (受入機関名)(英語) **Saruu Villages Administration Office**

2) 配属先名 (日本語) **イシククリ州ジェティオグズ県サルー村役場**  
 (英語) **Saruu Villages Administration Office**

3) 任地 **イシククリ州サルー村**  
 ・首都( **ビシケク市** )から **東** 方向 **380 Km**  
 主要都市( **カラコル市** )までの交通手段及び所要時間( **車** で約 **0.7** 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 キルギスを代表する観光地イシククリ州の南岸に位置し、果樹栽培の盛んな肥沃な地域である。「一村一品」のコンセプトで現在進行中のJICA技術協力プロジェクト「イシククリ州コミュニティ活性化(J-CEP)」のパイロット村に位置づけられ、プロジェクトの支援を得ながらリンゴ等の果物を利用したドライフルーツの加工に取り組んでいる地域組合(「シリン」)もある。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 果樹栽培が盛んな村であるが、化学肥料を使わない栽培方法、病虫害にさらされた時の対処法などの知識・経験が不足している。日本での技術・経験を導入することで、果実の品質改良、更にドライフルーツ製品などの加工製品などの品質改良も目指し、地域発展に貢献することが求められている。

2) 期待される具体的業務内容  
 1. 果実・加工製品の品質改良  
 2. 果樹の病虫害対策  
 3. 日本農業についての情報提供  
 4. JICAプロジェクトと連携をしつつ、イシククリ州での一村一品運動の好事例となる活動を行なう

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 特になし

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 地域組合の女性8名:大卒3名、専門学校卒3名、高卒3名。実務経験2年以上	5) 業務使用言語 <input checked="" type="radio"/> キルギス語 ( ) <input type="radio"/> ロシア語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: ) <input type="checkbox"/> (レベル: )
--	---	---

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
・学歴 <b>大卒 農学</b>	学歴理由:
・経験 <b>実務経験 3年以上</b>	経験理由:
	理由:
	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 車輦 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(内陸性気候) 気温( **-10~30℃位** ) 電気(  安定  不安定  なし )  
 電話(  インターネット可  通話可  不良  なし ) 水道(  安定  不安定  なし )

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 6 月 30 日

要請番号( JL 763 - 09 - B - 01 )

調査者名: 井坪 豊明

国名	職種/指導科目 (コード 1004)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウズベキ スタン	職種 果樹栽培 指導科目	●新規	●2年	1	22 / 1
	職種(英) Fruit Growing 指導科目(英)	○交替	○1年	2	22 / 2
		○ヶ月	3	22 / 3	年 月 から

プログラム番号・名 7630000000009 プロジェクト名 農業改革・地域開発プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 農業水資源省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Water Resources

2) 配属先名 (日本語) 園芸研究所フェルガナ支部  
 (英語) Ferghana Branch of the Research and Development Institute for Horticulture

3) 任地 フェルガナ州クバ郡  
 首都( タシケント )から 南東 方向 300 Km  
 主要都市( フェルガナ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 支部は国立果樹研究所の支部であるが、経営的には独立採算制である。主な収入源は、果樹苗木の販売収入と貸出農地や独自農場からの売上収入であるが、今後は農家への果樹栽培技術指導の有料化も考えられている。職員20名、農場従業員350名、研究所の敷地面積730ha、その内560haが果樹園である。同支部を対象として、2011年3月までJICA草の根技術協力「フェルガナ州果樹栽培技術向上計画」が実施中である。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 フェルガナ州における果樹栽培は、綿花栽培と並ぶ主要産業のひとつであるが、旧ソ連時代の栽培方法がそのまま引き継がれ、新しい栽培技術の導入や品種改良は非常に立ち遅れている。現在、JICA草の根技術協力により、同研究所内のモデル果樹園を中心にモモやリンゴの新品種導入、剪定・摘果技術指導、木酢液散布による病害虫防除等の指導が行われているが、同技術協力は2011年で終了する。JOCVは同技術協力の日本側支援機関と連携・協力しながら、日本の先進的な果樹栽培技術の導入・定着を促進することが求められている。

2) 期待される具体的業務内容  
 JOCVは草の根技術協力の日本側支援機関である福島県伊達市の各種関係組織と連携・協力しながら、リンゴとモモを中心とした果樹栽培技術の向上をめざす。技術指導の範囲は広範囲にわたるが、以下の様な業務内容が考えられる。  
 1. 剪定、摘果、摘蕾  
 2. 木酢液の製造及び木酢液を利用した病害虫防除  
 3. 土壌改良  
 4. 収穫処理、流通販売の改善

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 リンゴ、アンズ、モモ、サクランボ、マルメロ等の農場、苗畑は十分にある。一部温室設備もあり。実験室はあるが、機材は老朽化しており現状では使用不可能。草の根技術協力により木酢液製造装置が設置されている。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
 研究所技術職員(男性約10名、30~50歳代)  
 農場従業員(男女、多数)

5) 業務使用言語  
 ● ウズベク語 ( )  
 ○ ロシア語 ( )

6) 選考指定言語  
 英語 (ハ\*N: )  
 (ハ\*N: )

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 性別理由:  
 ・学歴 大卒 農学 学歴理由: 専門知識が必要のため  
 ・経験 実務経験 経験理由: 応用力が必要のため  
 理由:  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(ステップ ) 気温( -20℃~40℃位) 電気(□安定 不安定 □なし)  
 電話(□インターネット可 通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 10 日

要請番号( JL 224 - 09 - B - 02 )

調査者名: 山本 雅子

国名	職種/指導科目 (コード 1101 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ドミニカ 共和国	職種 病虫害対策 指導科目	○新規	◎2年	1	22 / 1
	職種(英) Disease and Pest Control 指導科目(英)	◎交替	○1年	2	22 / 2
		2代目	○ヶ月	3	22 / 3

プログラム番号・名 2240000000001 プロジェクト名  
その他

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture
	2) 配属先名 (日本語) 農牧林研究庁北部センター (英語) Dominican Institute of Agriculture and Forestry Research, North Center
	3) 任地 ラ・ベガ 首都( サントドミンゴ )から 北西 方向 125 Km 主要都市( サントドミンゴ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、農務省の管轄の下、安全な農作物の生産や農業技術の向上、土壌保全、森林保全に係る研修をしている。本部(首都)、北部、南部、家畜生産、生物工学・生物多様性センター等があり、北部センターは4つの研究支部と5つの研究農場を所有している。JICAでは、北部センターに対し、5年間の技術協力プロジェクト(2004.10~2009.10)を実施しており、現在JICA専門家とJOCVが活動中である。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 任地は、国内有数の農業生産地だが、持続可能な農業への転換や小規模農家の競争力強化に課題を抱えている。これに対し、JICAは環境保全型農業技術の開発と普及を目的とする「北部中央地域小規模農家向け環境保全型農業開発計画プロジェクト」を実施している。同プロジェクトの対象地域は5つの小地域に分かれており、現在4つの小地域にJOCVが配置されているが、環境保全型農業を普及するためには、任地に密着して継続的に活動できるJOCVの協力が不可欠であるところ、今回の要請に至った。なお、同プロジェクトは2009年10月に終了するが、本JOCVにはプロジェクト終了後の自立発展性確保を視野に入れた活動が期待される。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 「環境保全農業プロジェクト」終了後の持続的発展を期待され、既に派遣されているボランティアとともに、定着のためのフォローアップの支援を行う。 2. 当該地域(リンコン、ポンドン)における零細農家を巡回し、環境保全型農業に関連する一連の指導助言を行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 一般農機具		

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・学歴 大卒 農学	学歴理由: 業務に必要なため
		経歴理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
\* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯海洋性) 気温( 18~34℃位) 電気(□安定 ☒不安定 □なし)
	電話(☒インターネット可 ☒通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☒不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21年 1月 4日

要請番号( JL 603 - 09 - B - 10 )		調査者名: 長堀 智香子				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ジブチ	職種 病虫害対策 (コード 1101 )	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Disease and Pest Control			2	22 / 2	
指導科目(英)	3	22 / 3				
プログラム番号・名 乾燥地村落開発プログラム		プロジェクト名				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農林・畜産・漁業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, farming, and fishery					
	2) 配属先名 (日本語) 農業局 アンブリ試験場 (英語) Ambri Laboratory					
	3) 任地 ジブチ市 首都( )から 南 方向 1 Km 主要都市( )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.2 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同試験場では、半乾燥地農業(オアシス農業)の振興を実施している。主な事業は農園プロジェクトの実施、砂漠防止化であり、現在の主な業務は苗木栽培である。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同試験場では、半乾燥地農業(オアシス農業)の振興を実施している。主な事業は農園プロジェクトの実施、砂漠化防止である。当国は伝統的に遊牧民の国であり農作物栽培の習慣が無い。農業省では農作物の自給率向上の必要性を認識しており、現在、同試験場には4代目の野菜隊員が活動中である。同省は近年、農業生産性向上のための適正な病害虫予防を推進しており、それらに関する知識の普及のため今回の要請があった。					
	2) 期待される具体的業務内容 拠点は同局内の同試験場であるが、国内各自治区内にある農業局においても、スタッフ及び住民に対し、巡回指導を行う。 1. 病虫害同定等、現状調査、問題分析 2. 現状に適した病虫害予防普及					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 巡回のための車両					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 20から30人程度の職員がいる。 圃場の管理を行うのは10人程度 (経験10~15年)		5) 業務使用言語 ◎ フランス語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: 学歴理由: スタッフに対する指導を行うため必要 学歴 大卒 経験理由: 普及を行うため必要 経験 実務経験 3年以上 理由: 理由:					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車					×	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概地 況域	気候(乾燥地砂漠気候) 気温( 30~45℃位)		電気(□安定 ☑不安定 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)		
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)					



平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 7 月 7 日

要請番号( JL 012 - 09 - B - 27 )

調査者名: 田中 智穂

国名	職種/指導科目 (コード 1102 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
フィリ ピン	職種 土壤肥料 指導科目	○新規	●2年	1	22 / 1
	職種(英) Soils and Fertilisers 指導科目(英)	●交替	○1年	2	22 / 2
		2代目	○ヶ月	3	/

プログラム番号・名: 生計向上プログラム  
プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 国家経済開発局-ボランティア調整局  
(受入機関名)(英語) Philippine National Volunteer Service Coordinating Agency

2) 配属先名 (日本語) 農業省第7地域事務所 地域土壤検査室  
(英語) Department of Agriculture, Regional Field Unit No.7

3) 任地 セブ州マンドラウエ市  
首都( マニラ )から 南東 方向 600 Km  
主要都市( セブ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
当土壤検査室は、第7地域(セブ島、ボホール島、ネグロス・オリエンタル州、シキホール島)及び一部他地域から集められた土壌・水・肥料サンプルの理化学成分分析を行い、農地等としての土壌品質適正を検証、施肥へのアドバイス等を行っている。当土壤研究室が行っているトウモロコシ生産農地の土壌分析プログラムの予算は約2万ドル(2008年~2012年)

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
前任隊員は、トウモロコシ生産農地の、特に酸性土壌の改良及び修復(リハビリテーション)を目指し、土壌サンプルの収集、及び成分分析技術指導を配属先スタッフに対して行っている。限りある実験機材及び試薬を有効活用し、効果的で安全な分析技術を継続して配属先スタッフに指導すること、また新しい分析技術(比色分析法)の指導、分析結果を基にした作物別の適切な肥料施肥量及び石灰施肥量設計法の指導が求められている。土壌の一般的な化学分析項目:pH、有機物量、カリウム、燐

2) 期待される具体的業務内容  
配属先分析技術者に対し、以下の協力を行う。  
・担当地域での土壌サンプルの収集  
・土壌サンプルの一般的な化学分析技術及び分析結果を基に農地への適切な施肥量、石灰施肥量を算出する技術を配属先スタッフに対して指導する。  
・微量必須元素(鉄・マンガン・亜鉛等)の分析技術を配属先スタッフに対して指導する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
pHメーター、電子天秤、オープン、炎光光度計、スペクトロフォトメーター、ホットプレート、湿度分析器、顕微鏡 等

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 土壌検査室所長:女性(50代) 農業技術者(分析スタッフ):5名(女性)(30代~50代)	5) 業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ その他 (ビサヤ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
--	---	--

資格条件  
条件(資格、免許、性別)及びその理由  
性別理由:  
・学歴 大卒 農学 学歴理由:土壌分析技術及び経験が必要のため  
経験理由:  
・小型自動二輪以上 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車			×

配属先管轄地域内の土壌サンプルを収集するため  
\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
\* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(熱帯性気候) 気温( 25-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)  
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21年 3月 8日

要請番号( JL 012 - 09 - B - 28 )

調査者名: 杵鞭 政樹

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
フィリ ピン	職種 土壌肥料 (コード 1102 )	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Soils and Fertilisers 指導科目(英)			2	22 / 2	
		3	/			

プログラム番号・名 プロジェクト名  
 生計向上プログラム

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 国家経済開発局-ボランティア調整局 (受入機関名)(英語) NEDA-PNVSCA
	2)配属先名 (日本語) 国立カタンドアネス大学 農水産学部 (英語) Catanduanes State Colleges, College of Agriculture and Fisheries
	3)任地 カタンドアネス州ビラック町 首都( マニラ )から 南東 方向 380 Km 主要都市( ビラック )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) カタンドアネス州唯一の国立大学。農水産学部のほか、教育学部、芸術学部、工学部、理学部等があり、生徒数約6000名、教授や講師等計400名の大学である。なお、フィリピンの学校制度では17歳から大学入学資格がある。年間予算は約450万米ドル。過去に漁業養殖の隊員が1名派遣されていた。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) JICAの研修を受講した同州の職員が、帰国後に研修成果を活かした農業振興を目的とする州全体の土壌マップ作成プロジェクトを行うため、必要な土壌分析機材(下記)を2003年にJICAの支援を受けて同大学の土壌分析室に導入した。しかしながら、同大学の土壌分析担当職員の知識・経験が浅く、導入した機材を活用できない状況が続いている。そのため、同職員への機材の使用法、土壌の検査方法、分析結果のフィードバック等の指導及び土壌マップ作成プロジェクトへの支援のため、隊員の派遣要請となった。なお、当初、州政府、州農業局、同大学との共同で行われる予定であったが、現在は同大学を主体とするプロジェクトとなっている。		
	2)期待される具体的業務内容 (1)協働を通じたサンプリング、試料準備等土壌分析に関する一連の手法に関する指導 (2)分析結果の解析、結果記録簿作成手法に関する指導・助言 (3)学内実験農場や農家から持ち込まれる土壌サンプルの分析と分析結果に基づく施肥についての助言等 (4)カタンドアネス州土壌マップ作成プロジェクトに関するサンプリング計画や現場でのサンプリング方法に関する助言 (5)機材、試薬の管理方法、補充に関する助言 (6)学生の土壌分析実習に対する補助		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 炎光・分光光度計(SFP-3、富士平工業社製、日・英操作マニュアル有)、シェイカー、浄水器、PHメーター、電子秤、デスクトップ型パソコン(Windows)等		
要	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 学部長 男性50歳代 助教授 男性40歳代 分析技術者 女性 20歳代	5)業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ その他 (ピコラノ語)	6)選考指定言語 ☑ 英語 (バール: ) □ (バール: )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	・学歴 大卒 業務関連分野	学歴理由: 大学で講師と同格として活動するため
	・経験 実務経験 2年以上	経験理由: 実務経験に基づく指導・助言が必要のため
		理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(熱帯性 ) 気温( 20-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)  
 況域 電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 8 月 17 日

要請番号( JL 251 - 09 - B - 14 )

調査者名: 櫻上 正彦フィールド調整員

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
パナマ	職種 土壌肥料 (コード 1102 )	●新規 ○交替 ○ 代目	●2年 ○1年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Soils and Fertilisers 指導科目(英)			2	22 / 2	
		3	22 / 3			

プログラム番号・名 2510000000003 プロジェクト名  
 地方貧困削減のための地域開発モデル・プログラム

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 協同組合庁 (受入機関名)(英語) The Panamenian Autonomous Cooperative Institute
	2)配属先名 (日本語) カンペシーノス・メサノス組合 (英語) The Cooperative of the Mesanian Farmers
	3)任地 ベラグアス県 ラ・メサ市 首都( パナマ市 )から 西 方向 300 Km 主要都市( ベラグアス県 サンティアゴ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 協同組合庁ベラグアス県事務所が推進する、「持続可能家族農場自給プロジェクト(通称: グランハ・ファミリアル)」は、国内最貧困地域に属する組合に対し、個別指導を通じて自給自足農業を確立し、将来的には、自分の農場で収穫した農作物を協同組合を通じて商業化し、持続的な産業を育成しようとするものである。現在、JICAボランティア(SV2名、JV3名)も協力している。県事務所2008年度予算は約US\$175千。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ベラグアス県はパナマ国内でも貧困度の高い地域であるが、その中で協同組合庁ベラグアス県事務所が中心となり、JICAが協力を行っているプロジェクト「グランハ・ファミリアル」は、平均約35%といわれる各家庭の自給自足率を向上させるために、水田の導入・養魚などを従来のパナマ式農業に組み込むというものである。同プロジェクトの目的のひとつとして、持続性・有機農業を重視し、県事務所の農業技術指導員が、JICAボランティアとともに各組合員への農業指導を行い、農民へのサポート体制を作っている。持続的にこの農業を行うには、有機肥料作りは欠かせないため、その指導も含め今回の要請にいたった。		
	2)期待される具体的業務内容 「グランハ・ファミリアル」を推進するために、下記の活動を行う。 1. 地方の組合(カンペシーノス・メサノス組合)に対して農業技術の支援を行う。 2. 様々な地域に、組合員の農家が点在するため、巡回を行い、主に有機肥料作りを支援する。 3. 県事務所所属の農業技術者とともに、各組合員を訪問し、農地の様子を調査する。 4. 県事務所の協力のもと、プロジェクトの進捗管理を行う。 5. ベラグアス県内全域のプロジェクト対象農家の土壌診断・指導等を行う。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 県事務所スタッフ: 県事務所長 男性 40代 農業課部長 男性 50代 県事務所農業指導者 男性 40代	5)業務使用言語 ● スペイン語 ( ) ○ ( )	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴 大卒 農学	学歴理由:一定の知識・技術が求められるため。
	経験理由:	
	理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		P	×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候( 亜熱帯 ) 気温( 20-35℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
地域	電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(  JV  日青  SV  日SV )  
 短期(  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 7 月 11 日

要請番号( JL 506 - 09 - B - 19 )		調査者名: 政金 直人			
国名	職種/指導科目	区分	派遣希望期間	派遣希望時期	
エチオピア	職種 土壌肥料 (コード 1102 ) 指導科目	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Soils and Fertilisers 指導科目(英)			1	22 / 1
2	22 / 2				
3	22 / 3				
プログラム番号・名 農業・農村開発プログラム		プロジェクト名			
配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) オロミア州職業訓練校局 (受入機関名)(英語) Oromia TVET Agency				
	2) 配属先名 (日本語) チロ農業技術短期大学 (英語) Chiro Agricultural TVET College				
	3) 任地 アッサブタファリ 首都( アジスアベバ )から 東 方向 320 Km 主要都市( ナザレット )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 2 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1990年農業高校として設立。2001年の教育制度改定にともない3年制短大となった。自然科学部、動物科学部、植物科学部の3学部で構成されている。2007/2008年度の生徒数は約1,000名、教員数41名。卒業生の約80%は州の農業普及員になっている。平成7年度から12年度の間に4名の協力隊員派遣実績がある。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) エチオピアは国民の約85%が農業従事者である。エチオピア政府は全国に25校の農業技術短大を有し、D.A.(Development Agents)と呼ばれる農業普及員を育成し、農民への農業技術普及やサービスに力を入れている。しかしながら、必要とされる普及員の絶対数の不足、短大での指導内容と現場でのニーズが一致しない、現場で活用できる技術や経験の不足等が課題となっている。野菜栽培に適した土壌肥料及び土壌保護・管理に関する理論及び実習の指導が求められ要請となった。				
	2) 期待される具体的業務内容 植物学部に属し以下の業務を予定している。 1. 同僚とともに、野菜栽培を主とする土壌肥料及び土壌保護・管理に関する実習授業を行う。 2. 卒業後、農業普及員となる学生に対して、農民に普及する実用的な知識、技術を指導する。 3. 同僚が実習授業を行えるよう指導する。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 農場、実験室				
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 学部長 男性 同学部教員 8名	5) 業務使用言語 <input checked="" type="radio"/> 英語 ( ) <input type="radio"/> ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: ) <input type="checkbox"/> (レベル: )		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: 学歴理由: 同僚教員は大卒以上のため 学歴 大卒 業務関連分野 経験理由: 実習指導が求められているため 経験 実務経験 3年以上 理由: 理由:				
活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度	
<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 車輜 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車				x	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地況	気候(熱帯性気候) 気温( 15-30℃位)		電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし )		水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 16 日

要請番号( JL 548 - 09 - B - 01 )		調査者名: 傍嶋 健				
国名	職種/指導科目	区分	派遣希望期間	派遣希望時期		
タンザニア	職種 土壌肥料 (コード 1102 )	長期のみ	◎ 新規 ○ 交替 ○ 代目	◎ 2 年	1 22 / 3	日系/短期等
	指導科目			○ 1 年	2 /	
ア	職種(英) Soils and Fertilisers			○ ヶ月	3 /	年 月 から
プログラム番号・名 5480000000002		プロジェクト名				
農業セクター開発支援プログラム						
配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) ザンジバル農業畜産環境省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Livestock and Environment					
	2) 配属先名 (日本語) キジンバニ農業訓練校 (英語) Kizimbani Agricultural Training Institute (KATI)					
	3) 任地 ザンジバル(ウングジャ島) 首都( ダルエスサラーム )から 北 方向 80 Km 主要都市( ストーンタウン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.7 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 中心地ストーンタウンから北東16KMに位置する当校は、1998年に開校した2年制(年間3学期)の農業・家畜専門学校である。0レベル(中学2年~高校2年)卒業生を対象とし、将来の「農業促進従事者」と「農業関係自営業者」を育成している。全校生徒は150名、講師は14名。2010年1月から韓国ボランティアが果実野菜加工施設を着工予定。年間予算は6百万程度。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 農業・家畜飼育分野の慢性的な指導者・人材不足が深刻な同国において同校は設立されたものの、専門分野の教育者が少なく、授業内容も充実しているとは言いがたい。また、適切な教材等も極端に不足している状況下、訓練コース内に新設された「土地活用部門」において、「農作物収穫量向上を目的とした土壌に関する教育」が必要とされ、今回の要請が上げられた。また、当校においては教育システムやシラバスが体系化されておらず、この方面に対する助言も期待されている。					
	2) 期待される具体的業務内容 1. 農作物収穫量向上を目的とした、土壌に関する授業を担当する。 2. 土地活用部門長に対し、技術面及びシラバス作成等に対する助言等も期待されている。 3. 専門分野の教材が極端に不足している為、指導分野の教材作成も求められている。 4. 土壌学以外でも、その他農業関連分野の指導もJOCVの可能な範囲で望まれている。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 土壌学実験室、視聴覚教材、実習用農地					
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・同僚(男性3名、40歳代)		5) 業務使用言語 ◎ 英語 ( ) ○ スワヒリ語 ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: ・学歴 大卒 業務関連分野 学歴理由: 配属先の要請 ・経験 実務経験 経験理由: 配属先の要請 理由: 理由:					
活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度		
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車				×		
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概地域況	気候(海洋性気候) 気温( 25-35℃位)		電気(□安定 ☑不安定 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)		
	電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)					

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期(◎JV ○日青 ○SV ○BSV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

記入日:平成 21年 7月 24日

要請番号( JL 621 - 09 - B - 06 )

調査者名: 深林 真理

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
マリ	職種 土壌肥料 (コード 1102 ) 指導科目	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Soils and Fertilisers 指導科目(英)			1 22 / 1	年 月 から
				2 22 / 2	
		3 22 / 3			

プログラム番号・名 \_\_\_\_\_ プロジェクト名 \_\_\_\_\_

1) 受入省庁名(日本語) 農業省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture

2) 配属先名 (日本語) セグー州農業支局  
 (英語) Direction of Agriculture in Segou Region

3) 任地 セグー州セグー県サンザナ市  
 首都( バマコ )から 北東 方向 275 Km  
 主要都市( バマコ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 農業省の地方機関である農業支局は管轄地域内での農民支援を実施しており、各県、郡レベルにおいても農業普及員を配置している。セグー州ではJICAの開発調査(2000年~2007年)により砂漠化防止を目的とした持続的農村開発モデルが確立された。マリ政府は2008年より日本の見返り資金を活用し農業支局を中心に同モデルの全州展開を実施中である。2008年度はJICA専門家による支援も実施された。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 セグー州農業支局が中心となって進めている砂漠化防止プロジェクトでは、JICAの協力により養成されたCAPが住民ニーズに合わせた支援を住民主体で進めている。これまでのJICAの協力、マリ政府自身による普及が2010年をもって終了することから、今後住民による持続的実施ならびに発展が期待されている。これまでの協力コンポーネントである識字教室、井戸、家畜用のワクチン接種場、野菜栽培、苗畑、植林といった生活改善のための基礎整備を持続的な発展につなげるために、現場レベルでのきめ細かな指導・サポートが必要とされており、本要請にいたった。同配属先には、村落開発普及員、野菜栽培隊員の派遣が予定されている。

2) 期待される具体的業務内容  
 配属先管轄市のひとつであるサンザナ市の村を活動対象地域とし、サンザナ市役所及び市役所付農業省技官と相談の上、コミュニティ内にある複数の村を選定し、巡回しながら以下の活動を実施する。  
 1. 食用作物の生産向上を目指し、有機肥料(コンポスト)作りの支援を行う。  
 2. 対象地域の村の農地状況を定期的に観察し、適切な利用方法に関する助言を行う。  
 3. 農業技術普及員に対し、農地利用・堆肥作りに関する研修を行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 特になし

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先スタッフ・同僚: 農業普及員及び市役所付農業省技官 指導対象者: 農民	5) 業務使用言語 ◎ フランス語 ( ) ○ その他 (バンバラ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
---	---	--

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 性別理由:  
 学歴理由:  
 経験理由:  
 理由:  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域 気候(サバンナ北スーダン) 気温( 17~43℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)  
 状況 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 8 月 10 日

要請番号( JL 636 - 09 - B - 12 )

調査者名: 吉永 由美

国名	職種/指導科目 (コード 1102 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ルワンダ	職種 土壤肥料 指導科目	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Soils and Fertilisers 指導科目(英)			2	22 / 2
				3	22 / 3
				年 月 日	から

プログラム番号・名: 東部県地方開発プログラム  
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 農業動物資源省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Animal Resources

2) 配属先名 (日本語) ルワンダ農業開発公社  
 (英語) Rwanda Agricultural Development Authority (RADA)

3) 任地 キガリ  
 首都( キガリ )から 市内 方向 0 Km  
 主要都市( キガリ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 当公社は農業動物資源省の傘下において農業全体の開発プログラム・政策と実施に関わる監督実施機関である。同時に各地に農業試験場を構え、6部門(土壌・水管理、種子生産、作物生産、稲作開発、病害虫防除、ポストハーベスト)の専門分野において研究開発がなされている。公社全体の2007年度予算は約2,040,000USD。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 当国は気候が温暖で降雨量も多く野菜や果物、花卉栽培が盛んで輸出も行っている。GDPにおける40%を農林漁業分野が占め、農林漁業の就労人口は労働人口の90%を占めている。同公社は支援、土壌及び水管理、種子生産、稲作開発、作物生産、病虫害予防、収穫後処理管理の7ユニットで構成される。近年、日本からの肥料援助として北部3郡に約1000トンの化成肥料NPK17-17-17が支援されている。国内の農業生産量増加のために、土壌の肥沃度を見極め、適正な施肥量と方法についての知識と経験が豊富な人材が求められている。

2) 期待される具体的業務内容  
 1. 開発公社本部(キガリ)の事務所に勤務し、必要に応じて郡レベルの出先事務所で活動する。  
 2. 配属先の技術者と活動を共にし、郡・地域の農業技官や農業組合員等に技術指導をする。  
 3. 対象作物は、米、メイズ、キャッサバ、馬鈴薯、小麦、大豆など  
 4. 当国は国土が限られており、長期にわたる耕作により土壌劣化が問題視されているため、化学肥料や堆肥を組み合わせ持続的な営農計画を立てる。  
 5. 流通している化成肥料はNPK17-17-17、URIN(N2)、DAP(主要成分はPおよびN)の三種

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 事務所(机・椅子)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農業技術者(40歳前後、男性、大卒)	5) 業務使用言語 ◎ フランス語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (V^N: ) ☐ (V^N: )
--	---	--

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 性別理由:  
 ・学歴 大卒 農学 学歴理由: 同僚と同等以上  
 ・経験 実務経験 2年以上 経験理由: 実践力を要する  
 理由:  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域 気候(熱帯性気候) 気温( 15-30℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)  
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 8月 7日

要請番号( JL 306 - 09- B - 19 )

調査者名: 西本 えりも

国名	職種 / 指導科目 (コード 1201 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ボリビア	職種 農業土木	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Agricultural Civil Engineering 指導科目(英)			3	22 / 3

プログラム番号・名 3060000000002 プロジェクト名 コチャバンバ県灌漑施設改修計画  
 小規模農家の貧困削減

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 水資源省 (受入機関名)(英語) Ministry of Water
	2) 配属先名 (日本語) アンゴスツーラ灌漑組合 (英語) Association of Irrigation LA ANGOSTURA
	3) 任地 コチャバンバ県コチャバンバ市 首都( ラパス )から 東 方向 300 Km 主要都市( コチャバンバ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) アンゴスツーラ灌漑施設の利用者らで組織している組合。 年間予算(2009年)は、約10万6千米ドル。 日本政府の無償資金協力により「コチャバンバ県灌漑施設改修計画」が実施され、2009年3月に終了した。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) コチャバンバ県灌漑施設改修計画による改修工事が完了し、水路のライニングが適切に行われた。しかしながら、組合員によって灌漑水路システムの管理が適切になされておらず、洪水の被害や灌漑水の浪費等問題点が多い。上記対策は、ボリビア側の課題であるものの、適切な技術的指導者がいない為、同プロジェクトにおいて、灌漑用水路の管理マニュアルを作成することとなった。そこで、マニュアルの普及の為に農業土木の専門知識をもったボランティアが必要であり、組合員1人1人が、しっかりと技術を習得出来る様、指導することによって、より効果的な援助及び技術移転が期待される。		
	2) 期待される具体的業務内容 以下の内容についての研修会を配属先同僚及び関連機関に対して行う。 ■灌漑水路システム ■水管理(水の公平な分配・節水対策・洪水対策)の方法 ■灌漑水の定期的なモニタリング及び分析の方法		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 事務機器・流量計		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 灌漑水路責任者: 男性35歳 農業技師 (男9名・女2名 合計11名)	5) 業務使用言語 ◎ スペイン語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・学歴 大卒	性別理由: 学歴理由: 現場での業務を円滑に進めるために必要
	・経歴 社会経験 5年以上	経歴理由: 活動をする上で必要な経験
		理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			X

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、X:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(温暖 ) 気温( 10~30℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 6 月 25 日

要請番号( JL 506 - 09- B - 03 )

調査者名: 岩田 章一

国名	職種 / 指導科目 (コード 1201 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エチオピア	職種 農業土木 指導科目	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
				2	22 / 2
				3	22 / 3
ア	職種(英) Agricultural Civil Engineering 指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 5060000000007 プロジェクト名 農業生産性向上  
 農業生産性向上

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) アムハラ州農業農村開発局 (受入機関名)(英語) Bureau of Agriculture and Rural Development
	2) 配属先名 (日本語) ウォレタ農業職業訓練カレッジ (英語) Woreta Agricultural TVET College
	3) 任地 ウォレタ 首都( アジスアベバ )から 北西 方向 650 Km 主要都市( ハルダゲル )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) エチオピアの大稲作地帯に位置する農業職業訓練校。2009年9月から短大に昇格し、4つの学部から構成され農業普及員を育成する機関。配属先は約30人の農業研究員、インストラクターが滞在。JICAの帰国研修員(稲作研修)も副校長として在籍。日本の農業分野支援として、連邦農業省派遣の農業アドバイザー専門家、JIRCASの研究、NGOとの連携した活動も予定している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) エチオピアは、人口全体の80%が農村人口、農業就労人口は全就労人口の約80%、産業においても農業生産が約50%を占める農業国である。一方、毎年食料支援が必要な地域もある。JICAは、農業分野への支援を最重点分野と位置づけ、研究、調査、普及分野への支援を実施している。今後エチオピアは、新たな作物である稲作拡大を計画している。特に、同地域は約30年前から紹介された稲作が根付いているが、効果的な収量拡大や新たな付加価値へのアイデアが欠如し、さらに農業分野の質の高い専門人材も不足しており課題は多い。本要請は、農業分野の技術者育成、近隣農民への指導、稲作普及のため、JICAボランティアの要請があった。
	2) 期待される具体的業務内容 配属先同僚と以下を主に行う。 1. 校内にある圃場で栽培している作物の調査・研究を行う。 2. 収集したデータを基に、農業指導に必要な資料を作成する。 3. 有効な水の利用法(校内に研究用のため池設置)の調査・指導。 4. その他配属先と協議し、必要な活動を実施する。 5. 同配属先派遣予定の稲作隊員、近隣の農業試験場派遣予定の関連職種隊員と連携した活動も期待している。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 学校にある事務機器。

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 農業研究員・インストラクター・農業普及員(20~40歳)	5) 業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ その他 ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由		

性別理由:	
学歴理由:	
経験理由: 経験豊富な研究員や農家に指導するため	
理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況 気候(熱帯性高原性気候 ) 気温( 10~30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし ) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 6月 25日

要請番号( JL 506 - 09 - B - 05 )

調査者名: 岩田 章一

国名	職種 / 指導科目 (コード 1201 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エチオピア	職種 農業土木	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Agricultural Civil Engineering 指導科目(英)			3	22 / 3

プログラム番号・名 5060000000007 プロジェクト名 農業生産性向上  
 農業生産性向上

1) 受入省庁名(日本語) アムハラ州農業農村開発局  
 (受入機関名)(英語) Bureau of Agriculture and Rural Development

2) 配属先名 (日本語) アデット農業試験場  
 (英語) Adet Agriculture Reserch Center

3) 任地 アデット  
 首都( アジスアベバ )から 北西 方向 600 Km  
 主要都市( ハンバダール )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 エチオピアの稲作地帯であるアムハラ州にある農業試験場。1986年に設立。アムハラ州にある4ゾーン(東西ゴジャン、アウィ、南ゴンダール)を管轄し、3つの研究を主に実施(土壌・灌漑関係、穀物・作物関係、混農林業・アグロフォレストリ)している。日本の農業分野支援として、連邦農業省派遣の農業アドバイザー専門家、JIRCASの研究、NGOとの連携した活動も予定している。JICA帰国研修員配属。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 エチオピアは、人口全体の80%が農村人口、農業就労人口は全就労人口の約80%、産業においても農業生産が約50%を占める農業国である。一方、毎年食料支援が必要な地域もある。JICAは、農業分野への支援を最重点分野と位置づけ、研究、調査、普及分野への支援を実施している。高原国のエチオピアは、雨量や水域、高度などにより多様な農業を営んでいる。しかしながら、低い水量や水源の乏しい地域では貧困である。本要請は、農業における水の有効利用のための研究・調査を行うため、JICAボランティアの要請があった。

2) 期待される具体的業務内容  
 配属先同僚と以下を主に行う。  
 1. 高地や水源地帯などの水源・流域管理の調査・研究  
 2. 水の有効利用への実用的なアドバイス  
 3. その他配属先と協議し、必要な活動を実施する。  
 4. 同配属先派遣予定の稲作隊員、近隣の農業職業訓練校派遣予定の関連職種隊員と連携した活動も期待している。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 学校になる事務機器のほかは、特になし。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農業研究員・インストラクター・農業普及員(20~40歳)	5) 業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ その他 ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
--	--	--

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 性別理由:  
 学歴理由:  
 ・経験 実務経験 2年以上  
 経験理由: 経験豊富な研究員や農家に指導するため  
 理由:  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(熱帯性高原性気候) 気温( 10~30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)  
 況域 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 1 日

要請番号( JL 524 - 09- B - 01 )

調査者名: 関 香織

国名	職種/指導科目 (コード 1201 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マラウイ	職種 農業土木	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Agricultural Civil Engineering 指導科目(英)			3	22 / 3

プログラム番号・名 5240000000003 プロジェクト名 灌漑農業振興プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 農業食糧安全保障省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Food Security

2) 配属先名 (日本語) 天然資源専門学校  
 (英語) Natural Resources Colleges

3) 任地 NRC  
 首都( リロングウェ )から 西 方向 15 Km  
 主要都市( リロングウェ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 1985年にカナダ政府の協力により開校した農業技術者養成専門学校であり、中高等学校卒業後進学する学生と、政府職員(農業普及員)の再訓練コースの2種類の学生を対象としている。毎年800名の卒業生を輩出しそのうち60%が農業普及員である。同校は農業・灌漑・畜産・栄養・環境・食物の6学科(2年半コース)と土地管理(1年半)学科がある。現在、農業学科と灌漑学科で2名の協力隊員(20-1)が活動している。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 マラウイは人口の85%が農業に従事しているが、殆どが天水依存の農業であり、灌漑技術者の養成とその普及はマラウイ国の重要な農業開発課題である。NRCの卒業生は地域農業のリーダーとなることが期待されているが、現地教官の指導者が不十分のためボランティアの要請に至った。授業シラバスでは理論60%、実技40%と隔っているが、現地教官は理論を優先しており、実用的な実技・実習の実施はまれである。現在隊員は測定の授業を担当しながら、実用的な知識普及のため灌漑水利、灌漑水路設計などの実習部門にも力を入れている。また、同僚に関連機械の使用方法や、効果的な授業方法・学校運営についての助言も行っている。

2) 期待される具体的業務内容  
 隊員は一教師として以下の活動をすると共に、上に述べた技術支援を現地教育に対して行う。  
 1. 灌漑学位コースでの講義(講義科目については着任後相談)  
 2. 灌漑学位コースでの実習指導  
 3. その他効果的な学校運営の助言・提言

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 PC、測量機器(レベル、平板、セオドライト、コンパスなど)、土壤浸透測定器

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 灌漑関連学科(男子3名、女子1名 大学院卒2名、大卒2名、Diploma 1名、年齢45, 40, 29, 26, 25)	5) 業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ その他 (チェワ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
---	---	--

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

- ・教諭免許 農業 性別理由:
- ・学歴 大卒 学歴理由: 専門学校で教えるため
- ・経験 実務経験 3年以上 経験理由: 即戦力が期待されているため
- ・大学で農業工学または農業土木を専攻 理由: 専門性が必要とされるため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			X

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(サバンナ ) 気温( 10~33 ℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)  
 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 6 月 9 日

要請番号( JL 524 - 09 - B - 02 )		調査者名: 関 香織				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
マラウイ	職種 農業土木 (コード 1201 )	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Agricultural Civil Engineering			2	22 / 2	
指導科目(英)	3	22 / 3				
プログラム番号・名 5240000000003		プロジェクト名				
灌漑農業振興プログラム						
配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 灌漑・水資源開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Irrigation and Water Development					
	2)配属先名 (日本語) デツザ県灌漑事務所 (英語) Dedza District Irrigation Office					
	3)任地 デツザ 首都( リロングウェ )から 南 方向 90 Km 主要都市( リロングウェ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2.5 時間)					
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は灌漑省灌漑局リロングウェ管区が管轄する三つの県事務所のうちの1つ。灌漑局から予算や技術支援を受けている。灌漑局の年間予算は約630万円で各県の土地改良や灌漑整備事業を行っている。現在、JICA、国際農業開発基金、EU、アフリカ開発銀行等の支援をうけ5件の灌漑関連プロジェクトを実施中である。					
要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) デツザ県灌漑事務所には灌漑技術や水利組合管理など4つの役職があるものの、1名の職員と2名のアシスタントが全ての業務をこなしており、現地調査を始めとする技術的な業務は灌漑局からの出張者が行っている。デツザ県内にはマラウイ最大の灌漑施設であるフンジェバレー灌漑施設(日本の無償資金協力)や国際NGOが行っている小規模農民を対象とした灌漑事業、アフリカ開発銀行の支援を受けたプロジェクトが数多くある。しかし灌漑施設の計画・設計・施工にかかる技術支援や、灌漑局管轄地域のスタッフを対象とした能力開発が必要とされ、県内のプロジェクトの効率的な実施を図る目的で灌漑技術をもったボランティアの協力が要請された。					
	2)期待される具体的業務内容 隊員は配属先の灌漑技術者とそのアシスタントと共に、下記の業務について支援する事が期待されている。 1. プロジェクトの調査・計画から建設にいたるまでの事業管理 2. 灌漑・排水施設の建設後の維持管理 3. 灌漑局のスタッフや農民を対象として、灌漑設備の維持管理に関するトレーニング実施 4. 中小河川を利用したポンプ灌漑の導入					
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 測量機器(レベル)					
要 請 概 要	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパート 男性 35歳 灌漑技師 大卒 経験4年 同僚 男性 25歳 灌漑技師助手 専門学校卒 経験3年	5)業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ その他 (チェワ語)	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )			
	条件(資格、免許、性別)及びその理由					
資 格 条 件	性別理由:					
	・学歴 大卒		学歴理由: 同僚が大卒のため			
	・経験 実務経験 3年以上		経験理由: フィールド経験が重要なため			
	・小型自動二輪以上		理由:			
・大学で農業工学または土木工学を専攻		理由: 即戦力が必要なため				
活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度		
◎有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車				x		
現場での移動手段として必要である						
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)						
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概地 況域	気候(サバンナ )	気温( 5~30℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)			
	電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)		水道(□安定 ☑不安定 □なし)			

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 13 日

調査者名: 竹下 恵

要請番号( JL 548 - 09 - B - 02 )

国名	職種/指導科目 (コード 1201 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
タンザニア	職種 農業土木	○新規 ●交替 3代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 3
	指導科目			2	/
	職種(英) Agricultural Civil Engineering			3	/
ア	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 548000000002 プロジェクト名  
 農業セクター開発支援プログラム

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 農業畜産環境省(ザンジバル政府) (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Livestock and Environment(Zanzibar Government)
	2) 配属先名 (日本語) 灌漑局 (英語) Department of Irrigation
	3) 任地 ザンジバル(ウングジャ島) 首都( ダルエスサラーム )から 北 方向 80 Km 主要都市( ストーンタウン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ザンジバル農業灌漑局では、管轄地域において陸稲栽培のための灌漑事業を実施しており、主な業務としては、陸稲栽培地の拡大、農業機械の投入、水管理施設の運営維持管理、農民グループへのサポートがあげられる。日本支援によるザンジバル灌漑マスタープラン調査(開発調査)が2004年に完了しており、日本及び韓国支援による灌漑施設設置事業が夫々完了している。年間予算は約14百万円程度。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ザンジバルにおける灌漑効率は依然低く、水管理技術に関する継続的な支援が必要であるため、引き続いてJOCVが要請された。稲作灌漑技術の一般への普及、稲作灌漑関連施設の維持管理について、助言を行うことのできる人材が不足しており、現在2代目であるJOCVは、ウングジャ島の灌漑稲作施設を巡回し、施設を利用する農民グループに、水路の維持管理、補修などについての助言を行っている。また、関連訓練校(Kizinbani Agriculture Training Institute)において学生を対象とした小規模灌漑(農業土木分野)の授業も受け持っている。学生は、卒業後、各地区に戻り、農業普及員として働く。
	2) 期待される具体的業務内容 1. 各地区の灌漑農地を巡回して農民グループに灌漑施設の運営・維持管理について指導を行う。 2. 配属先の関係者と協力して灌漑施設の設計に関わる業務に携わる。 3. 関連訓練校(Kizinbani Agriculture Training Institute)で、小規模灌漑についての授業を行う。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ、測量機器

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 灌漑局長(配属先責任者)(男性 50代) 同僚: 技師部門長補佐(男性 50代) 農業訓練センターの学生: 10~30代	5) 業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ スワヒリ語 ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
--	--	--

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	性別理由:
	学歴理由:
	経験理由: 業務を遂行する上で必要
・経験 実務経験 2年以上	理由: 配属先からの受入条件
・大卒(灌漑関連)	理由: 巡回指導が期待されているため
・小型自動二輪以上	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輜 ●単車 ○自転車			x

巡回指導が期待されるため

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地 気候(海岸性気候 ) 気温( 25~35℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 8 月 4 日

要請番号( JL 551 - 09 - B - 24 )

調査者名: 名村 欣哉

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ザンビア	職種 農業土木 (コード 1201 ) 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Agricultural Civil Engineering 指導科目(英)			2	22 / 2	
				3	22 / 3	

プログラム番号・名 5510000000009 プロジェクト名  
 農業生産拡大支援プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業協同組合省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Cooperatives
	2) 配属先名 (日本語) カロモ郡農業事務所 (英語) Kalomo District Agricultural Coordinator Office
	3) 任地 カロモ 首都( ルサカ )から 南西 方向 360 Km 主要都市( カロモ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0.2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 郡農業事務所は農業協同組合省の機関でザンビア各72郡にそれぞれ設置され、郡全体の農業行政をつかさどっている。農業調整官(District Agriculture Coordinator)のもと、普及、作物、畜産、水産、灌漑、市場等の職員が配置され、普及員による農民への支援を行っている。郡農業事務所では約25名のスタッフ及びフィールドにて普及員が業務に当たっている。年間予算は約US\$ 50,000。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 南部州に位置するカロモ郡では、ザンビア国内でも比較的降雨量が少なく干ばつが発生しやすい地域である。灌漑を通じた農業開発は、食糧作物の多様化、作物生産及び輸出作物の増大を推進するものであり、農家の収入増、雇用機会の拡大にもつながるため、ザンビアの農業政策における最重点課題が灌漑となっている。カロモ郡農業事務所では灌漑施設の整備、普及に力を入れており、いくつかの灌漑プロジェクトを実施されているため、高度な灌漑技術を持った人材が特に必要とされている。	
	2) 期待される具体的業務内容 郡農業事務所の灌漑担当技術者とともに、農業省が実施する灌漑プロジェクトに係る以下の活動の支援を行う。 ①灌漑プロジェクトサイトの現場調査、計画作成 ②灌漑プロジェクトのデザイン作成、コスト計算 ③灌漑プロジェクト実施にかかる指導、監督 ④実施した灌漑プロジェクトのモニタリング、評価	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 自動水準器(スウェーデン製)、コンパス デスクトップコンピューター	

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 郡農業事務所責任者: 郡農業調整官(40歳代) 同僚: 灌漑担当農業官 (30歳代~50歳代) 経験は数年から25年まで 対象となる農民: 小学校卒から中学校卒まで様々	5) 業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
---	-----------------------------------	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・学歴 大卒 農学	学歴理由: 業務上必要
		経験理由:
		理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(サバナ ) 気温( 5-35℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)		水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 8 月 4 日

要請番号( JL 551 - 09 - B - 25 )

調査者名: 名村 欣哉

国名	職種/指導科目 (コード 1201 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ザンビア	職種 農業土木	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Agricultural Civil Engineering			3	22 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 5510000000009  
 農業生産拡大支援プログラム

プロジェクト名 水の防衛隊

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業協同組合省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Cooperative
	2) 配属先名 (日本語) 天然資源開発短大 (英語) Natural Resources Development College
	3) 任地 ルサカ 首都( ルサカ )から 東 方向 12 Km 主要都市( ルサカ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1964年設立の政府系の農業短期大学。3年制で、農業経営、畜産学、作物学、農業教育、農業工学、漁業、食品栄養学、水工学の8つの学科が運営されている。講師数約50名、総スタッフ数約150名。生徒数約450名。生徒の実習および自立運営のために約500haの土地を所有し、作物の栽培、家畜の飼育などが行われ、得られた利益は学校の運営資金に当てられている。今年度予算約US\$796,178。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 要請部署である水工学科には、通常7名の講師が必要とされているが、人材が民間等に流失しているため、現在4名しか配属されておらず、さらにその内の1名が海外に留学する予定であり、慢性的な講師不足になっている。そこで農業土木等に関連した講義を受け持つことができる人材が求められている。同校には家畜飼育隊員が配属されており、講義・実習を中心とした活動を行っている。		
	2) 期待される具体的業務内容 ①大学1年生から3年生に対し、水文学、測量学、灌漑等に関する講義・実習を行う。 また、可能であれば土木工学や土壌科学に関する講義・実習も行うことが期待されている。 ②卒業生に対し、卒論指導等を行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 測量器具、水質検査用具一式、雨量測定計器、吸水器		
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 学校長をはじめとした講師。30歳代から40歳代。経験豊富。 指導対象者: 高校を卒業した生徒。18歳から25歳程度。初心者から経験者まで。	5) 業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (ハ・ル: ) □ (ハ・ル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: 学歴理由: 学校の教員として指導するためには最低限必要 経験理由: 理由: 理由:		

資格条件	・学歴 大卒 農学	性別理由:	学歴理由: 学校の教員として指導するためには最低限必要	経験理由:	理由:	理由:
------	-----------	-------	-----------------------------	-------	-----	-----

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域	気候(サバンナ) 気温( 3-35℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
電話( □インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし )	水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 1 月 4 日

要請番号( JL 603 - 09 - B - 11 )	調査者名: 對馬 均
------------------------------	------------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ジブチ	職種 農業土木 (コード 1201 )	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目			1	22 / 1	日系/短期等 年 月 から
	職種(英) Agricultural Civil Engineering			2	22 / 2	
指導科目(英)	3	22 / 3				

プログラム番号・名 乾燥地村落開発プログラム	プロジェクト名
---------------------------	---------

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農林・畜産・漁業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, farming, and fishery
	2)配属先名 (日本語) 農業局 アンブリ試験場 アリサビエ支所 (英語) Ambri Laboratory ALi Sabieh Rranch
	3)任地 アリサビエ市 首都(ジブチ)から 南西 方向 95 Km 主要都市(アリサビエ)までの交通手段及び所要時間(バスで約 2.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 事業概要: 農民への技術指導、農業開発、植樹用苗木の栽培等 予算: 836, 158USD ジブチ市のアンブリ本局では19年4次隊1名(野菜)が活動中。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ジブチ市の農業の歴史は40年程度であり、降雨量が少なく、塩類が蓄積した粘土質の土壌で、夏には45度を越える酷暑のため耕作可能地域は国土の1%、食料自給率は3%程度である。政府は農業開発を国家戦略の優先課題としているが多くの農業地では利用水量が限定され、安定生産の障害となっている。農家は独自の工夫で栽培技術を高めようとしているが成功例は少ない。当国で数少ない農業生産地の一つアリサビエ市周辺の農家は、生活・農業用水を同じ井戸から取水しているため水は不足がちである。ボランティアは職員とともに効率的な貯水・灌漑技術指導を行う。
	2)期待される具体的業務内容 1. 農業用水路の補修指導及び設置指導 2. 貯水槽・給水システムの管理指導 3. 各種灌漑システムの試行
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 車両

資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: アリサビエ支所農業普及担当者2名 うち1名は日本で農業研修を受講済み 指導対象者: 農家	5)業務使用言語 ◎ フランス語 ( ) ○ ( )	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
------------------	---	-------------------------------------	---------------------------------------

条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
・学歴 大卒	学歴理由: 技術者とともに指導するため
・経験 実務経験	経験理由: 普及を行うため必要
	理由:
	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(乾燥地砂漠気候) 気温(30~45℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
地域	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 3 月 14 日

要請番号( JL 630 - 09 - B - 06 )		調査者名: 米村龍子			
国名 モザンビーク	職種 / 指導科目 職種 農業土木 (コード 1201 ) 指導科目 職種(英) Agricultural Civil Engineering 指導科目(英)	区分 (長期のみ) ○新規 ◎交替 3 代目	派遣希望 期間 ◎2 年 ○1 年 ○ヶ月	派遣希望時期 JOCV/SV 日系/短期等 1 22 / 2 2 22 / 3 3 / 年 月 日 から	
プログラム番号・名 地域農村開発プログラム		プロジェクト名			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture				
	2) 配属先名 (日本語) シフト郡農業事務所 (英語) Chibuto District Office of Economic Activity				
	3) 任地 シフト 首都( マプト )から 北 方向 250 Km 主要都市( シヤインヤイ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ガザ州シフト郡における農業、畜産、農村開発の指導、動植物の管理、環境保全などを行っている。農業改良普及員や技師などが郡内各地区を巡回し、農民への指導や資金支援を行う。年間予算は416000リヤリ(日本円で約170万円)				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ポルトガル植民地時代、シフト郡では大規模な灌漑農業が行われていたが、独立後それらの灌漑用水路は使用されず、農民は雨水に依存した農業を行っている。郡の農業事務所には教育を受けた灌漑技師がおらず、既存水路の保守管理や新規水路の設計施工ができないため、日本人ボランティアが要請された。2003年から2名隊員が派遣され小規模灌漑の整備や浅井戸やため池の工事をし農地の拡大を図ってきた。世界食糧計画WFPなど他ドナーとの連携協力も実施されている。				
	2) 期待される具体的業務内容 ガザ州シフト郡内の前任者のプロジェクトを補完すると共に早魃が進んでいる地域の調査や小規模灌漑によるモデル圃場作りに協力する。 1. 適正技術による小規模灌漑(浅井戸やため池を含む)の工事及びデモンストレーションの実施 2. 用排水路の補修を行い灌漑地を拡大する。 3. 他ドナーとの連携協力による水路補修工事などのプロジェクトを企画立案する。 4. 早魃や洪水被害地域の専門的調査の実施				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 測量機材、基本的工具類、土木機材				
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 郡事務所所長 男性40歳代 農業普及員30歳~50歳 農民		5) 業務使用言語 ◎ ポルトガル語 ( ) ○ ( )		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: 学歴理由: ・経験 実務経験 3年以上 経験理由: 普及員を指導するため 理由: 理由:				
活動用交通手段の必要性 ○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			研修等	形態	現職教員特別参加制度 ×
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地況 気候(亜熱帯 ) 気温( 20-40℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし) 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし ) 水道(□安定 □不安定 ☑なし)					

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 7 月 8 日

要請番号( JL 048 - 09- B - 14 )

調査者名: 柴崎栄司

国名	職種 / 指導科目 (コード 1202 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ブータン	職種 農業機械	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Agricultural Machinery 指導科目(英)			3	22 / 3

プログラム番号・名 0480000000002 プロジェクト名 農業機械化促進プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 農業省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture

2) 配属先名 (日本語) バジョー農業機械化センター  
 (英語) Agriculture Machinery Center, Bajo

3) 任地 バジョー  
 首都( テンブー )から 南東 方向 70 Km  
 主要都市( ウオンディ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 農業人口が減少傾向にあるなか、自給率の改善、換金作物の生産向上が開発課題となっている。効率的な農業技術開発・普及のため、農業機械化の促進を目指して農業機械化センター(AMC)が1983年に設立され、同配属先はその地方組織である。農機具の販売や修理、トレーニングのフォローアップなどを実施している。AMCでJICAの技術協力プロジェクトが08年6月より開始し、同配属先も協力機関となっている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 同配属先は、農民に対して、耕運機をはじめとする農業機械のメンテナンスや販売サービスを実施している。第10次5か年計画では、換金作物の増産が大きな目標となっており、機械の導入はその一つの手段として期待されている。農民のニーズに即した農業機械の輸入やサービス提供のために、中央と地方との連携の強化が求められ、JICAの技術協力プロジェクトも開始している。農民の視点に立った修理サービス向上という技術的な協力を行うと同時に、農業機械化促進のためのデータ収集という役割を側面支援するために、要請に至った。

2) 期待される具体的業務内容  
 ・農機具、特に耕運機やトラクターなどの修理サービスを同僚と共に提供する。この作業を通じ、スタッフの修理技術の向上を図る。特に、農民の視点に立ったサービスの提供に向けた提案が期待される。  
 ・修理やトラブルなどを記録し、なぜ破損・故障したのかを分析する。この結果は、農業機械化訓練センター(AMTC)へ報告され、農民へのトレーニング内容の改善のための資料となる。  
 ・バジョー自然資源研究センターが配属先に隣接している。協力しながら、効率のよい農業機械の使い方、普及なども期待される。  
 ・12~2月に実施される、移動メンテナンスキャラバンに参加、協力を行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 修理対象農業機械: 耕運機Kubota K120 その他、日本製田植え機、インド製トラクターや精米機など  
 配属先には、修理に関連する基本的な工具や、工作機械が揃っている。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル エンジニア男性5名(30~40歳代:経験5~15年程度)	5) 業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
--	-----------------------------------	--

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 性別理由:  
 ・学歴 高卒 業務関連分野 学歴理由: 農業機械の基礎的な知識が必須  
 ・経験 実務経験 5年以上 経験理由: 様々な農業機械修理を行うため  
 理由:  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域 気候(亜熱帯 ) 気温( 10 ~ 35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)  
 状況 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 12 月 10 日

要請番号( JL 139 - 09 - B - 07 )

調査者名: 高木 哲也

国名	職種/指導科目 (コード 1202 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
サモア	職種 農業機械	○新規 ●交替 3 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	22 / 1	年 月 から
	指導科目			2	22 / 2	
	職種(英) Agricultural Machinery 指導科目(英)			3	22 / 3	

プログラム番号・名 1390000000004 プロジェクト名  
 職業技術教育訓練

1) 受入省庁名(日本語) 財務省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Finance

2) 配属先名 (日本語) マリストセンター  
 (英語) Marist Centre for Special Learning

3) 任地 パラウリ  
 首都( アピア )から 北東 方向 60 Km  
 主要都市( サレロロガ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 サバイ島にあるカトリック系の私立学校であり、障害を持つ生徒や、学習が遅く他の学校で授業についていけない生徒、高校を何らかの理由で退学した地域の若者達に対して、職業訓練を主とした教育を行っている。現在までに自動車整備の隊員を2代に渡って派遣してきた。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 自動車整備分野で派遣された2代隊員が、技術科の一環として実施されていた自動車整備の授業を、自動車整備科として2007年4月から独立させた。生徒数は10名程度で、基礎知識を踏まえた自動車整備の授業を実施してきた。しかし、自動車整備科単独コースは地域の市場ニーズのマッチしているとは言えず、今後はより必要とされる農業系の小型エンジン(草刈り機等)の維持・管理と、溶接技術を集中的に学ぶ1年コースの学科に再編予定である。後任隊員は自動車整備ではなく、このようなニーズに応じた農業機械での要請となった。

2) 期待される具体的業務内容  
 ・小型農業機械(草刈り機等)、エンジン等の整備・維持管理等の授業を担当する。  
 ・小型エンジンの整備についての授業を実施する。特に、基本部分(基本的な構造、機能について)を生徒達に対して分かりやすく説明する必要がある。  
 ・上記の機械整備についての教材、テキストを作成する。  
 ・メンテナンスを中心とした実践的な指導を実施し、地域のニーズに合わせた効果的な授業組み立てを実施する。  
 ・溶接に関する基本的な知識があると望ましい。  
 ・高い技術レベルは必要とされないが、十分な機材、工具類がない中でも柔軟に対応する根気のある活動が望まれる。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 中古単車5台(エンジン始動不能)、肩掛け草刈り機4台(教材用)、トラクター型草刈り機1台、プッシュ式草刈り機1台、溶接整備、工具類一式

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
 今後、高等職業訓練学校卒業生を担当講師として雇用する予定。

5) 業務使用言語  
 ● 英語 ( )  
 ○ ( )

6) 選考指定言語  
 英語 (レベル: )  
 (レベル: )

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 性別理由:  
 ・学歴 専門学校卒 業務関連分野 学歴理由: 学校にて教師として指導するため  
 ・経験 実務経験 2年以上 経験理由: 実際の実技を指導するには必要であるため  
 理由:  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輦 ○単車 ◎自転車 通勤及び生活物資の買出し等に必要である。		N	X

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域 気候(熱帯海洋性) 気温( 25-32℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)  
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 8月 11日

要請番号( JL 545 - 09 - B - 17 )

調査者名: 藤家 斉

国名	職種 / 指導科目 (コード 1202 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウガンダ	職種 農業機械	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Agricultural Machinery 指導科目(英)			3	22 / 3

プログラム番号・名 545000000012 プロジェクト名 コム振興

1) 受入省庁名(日本語) 農業畜産水産省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries

2) 配属先名 (日本語) 農業機械及び適正技術研究所  
 (英語) Agricultural Engineering and Appropriate Technology Research Centre

3) 任地 ナムロンゲ  
 首都( カンパラ )から、 北 方向 20 Km  
 主要都市( カンパラ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 農業分野の研究・技術開発を担う国家農業研究機構(NARO)の傘下にある農業機械及び適正技術研究所は、首都カンパラの北20kmに位置し、機械関連の技術開発を実施している。JICAは2006年度及び2007年度に合計2名の研究者を日本での研修に派遣した。また、2004年6月から派遣している個別専門家「ネリカ米適用化技術」と連携し、稲作に必要な各種農業機械の開発を行っている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 ウガンダの農業において、機械化はほとんど進んでいない。特に稲作分野においては、稲作自体がウガンダにおいて比較的新しい作物であることから、脱穀機や石抜き機といった基本的な機械が普及していない。また、ウガンダ政府が今後500台のトラクターを購入予定であるが、適切な維持管理体制が整っていない。  
 農業機械及び適正技術研究所は、研究所内に「収穫後処理機械研修センター」を設置する予定であり、JICAが必要な資機材を供与することになっているが、資機材の供与のみならず、同研究所の研究員に対する技術的指導が求められている。

2) 期待される具体的業務内容

1. 研究所における稲作関連機械開発に対する助言
2. 開発した機械の農家菜園での実証試験の実施
3. 「収穫後処理機械研修センター」の運営管理に対する助言及び実際の研修の実施
4. 研究所が指導している民間農業機械工場に対する技術指導

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 トラクター、精米機、工具一式

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 総勢7名の研究者が在籍している。うち、2名は日本での研修経験あり。	5) 業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
---	-----------------------------------	--

資格条件 (資格、免許、性別)及びその理由

性別理由: \_\_\_\_\_  
 学歴 大卒 業務関連分野 学歴理由: 技術指導を行うため  
 経験理由: \_\_\_\_\_  
 理由: \_\_\_\_\_  
 理由: \_\_\_\_\_

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

\* 研修等 (H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態 (P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域 気候(亜熱帯) 気温( 10-30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)  
 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 □不安定 ☑なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21年 2月 10日

調査者名: 森田 音佳

要請番号( JL 324 - 09 - B - 16 )

国名	職種/指導科目 (コード 1302)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
パラグアイ	職種 養蜂	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	22 / 1	年 月 から
	指導科目			2	22 / 2	
	職種(英) Bee Keeping			3	22 / 3	
	指導科目(英)					

プログラム番号・名 3240000000010 プロジェクト名  
 小農自立化支援

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) NGO (受入機関名)(英語) NGO
	2) 配属先名 (日本語) エイレテニューアイ養蜂組合 (英語) Apiculturist Association Eirete Nuai
	3) 任地 カアグアス県フアンマヌエルフルートス市 首都( アスンシオン市 )から 東 方向 200 Km 主要都市( アスンシオン市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) エイレテニューアイ養蜂組合は15年前に結成された小規模組合で、蜂蜜生産とその販売を業務とする。2008年3月までの3年間、JICA養蜂業多様化支援プロジェクトの支援対象として、第三国専門家の指導を受けその業績を飛躍的に伸ばしてきた。2009年3月まで、村落開発普及員がマーケティング分野で活動した。組合員数19名、年間予算約11,670USD、年間生産量は3トン強となっている。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 養蜂業多様化支援プロジェクトの支援対象であるエイレテ・ニューアイ養蜂組合では、第三国専門家およびJOCVの活躍により、蜂蜜生産量が拡大するとともに品質が向上し、販売量が飛躍的に伸びたことから、新規組合員が加入し始めている。しかしながら初心者のために技術指導を行う人材が不足しているため、現在の蜂蜜の品質を維持していくことが難しい状況となってきている。高品質である製品の信頼を維持し、更なる蜂蜜生産量拡大のため、養蜂隊員の派遣により技術力の底上げを行う必要がある。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 巡回指導により、組合員(特に新規加入者)に対する養蜂技術の指導を行う。 2. 養蜂業多様化支援プロジェクトの他の養蜂組合(サブカイ、アウラ、サンタニの3組合)へ出張し、養蜂技術の指導を行う。 3. プロジェクト4組合に関連して活動するJOCV(村落開発普及員)たちと連携し、4養蜂組合で構成されるCODAPI(養蜂組合連盟)の組織強化、販売力強化に尽力する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 集出荷センター、遠心分離機(手動)、デキャンター、屈折光度計(糖度計)、重量計、採蜜用機材		
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 組合長(30歳代 男性) 組合員(20~60歳代 男性)	5) 業務使用言語 ● スペイン語 ( ) ○ その他 ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )

条件(資格、免許、性別)及びその理由	・性別 男性 性別理由: 組合員全てが男性であるため
	・学歴 学歴理由: 指導する立場であるため
	・経験 実務経験 2年以上 理由: 巡回指導に必須
	・小型自動二輪以上 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輜 ●単車 ○自転車		N	×

* 研修等(H:障がい者施設研修, A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト, N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能, ×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況域 気候(亜熱帯 ) 気温( 0~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

記入日:平成 21年 7月 10日

要請番号( JL 012 - 09 - B - 11 )

調査者名: 田中 智穂

国名	職種/指導科目 (コード 1402)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
フィリ ピン	職種 家畜飼育 指導科目	○新規	●2年	1 22 / 1	年 月 から
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)	●交替	○1年	2 22 / 2	
		3 代目	○ヶ月	3 /	

プログラム番号・名 0120000000039 プロジェクト名  
 生計向上プログラム(生計手段の強化・多様化)

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国家経済開発庁-ボランティア調整局 (受入機関名)(英語) NEDA-PNVSCA
	2) 配属先名 (日本語) 農業省畜産局国家家畜人工授精センター (英語) National Artificial Insemination breeding center (NABC)
	3) 任地 ケソン市 首都( マニラ首都圏 )から 北東 方向 20 Km 主要都市( マカティ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当センターは牛の人工授精技術普及のため、国内全地域の獣医事務所等を管轄し人工授精技術者育成、モニタリング、講習会、人工授精用液体窒素の生産と全国への供給を実施している。フィリピンでは協力隊チーム派遣「家畜人工授精計画」(1998年終了)を当センターを含め複数のサイトで実施、人工授精技術の普及を推進している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当センターではフィリピン全土の獣医事務所等で業務を行う人工授精師の技術向上のためのトレーニング及び人工授精データ管理を行っている。前2代の家畜飼育隊員は、フィリピン政府の事業である「国家人工授精計画」に協力し、全土から集められる肉牛の生態データ、人工授精データを分析するためのソフトの開発、またデータ分析及びデータの各地へのフィードバックについて支援を行ってきた。データ数を増やし、データの精度を向上させ、より適切なフィードバックを行うことで、各地の人工授精師のさらなる人工授精技術の向上及び牛の個体識別管理、優良系統の育成を図るために継続した隊員支援が必要とされる。
	2) 期待される具体的業務内容 NABCの職員と協力し以下の活動を行う。 1.開発されたデータ分析ソフトのフィリピン各地での使用率を上げるために各地を訪問しワークショップを実施する。 2.各地から集まるデータの分析法を指導する。 3.定期的に各地の獣医事務所等を訪問し、分析結果をもとに人工授精師に適切な人工授精技術を指導する。 4.個体識別システム確立のサポートとして、現場で肉牛に耳標を装着し、個体のデータ収集法の指導を行う。 データ: 月齢及び生体重 データ分析ソフト: Excel(ピボットテーブル)及びAccess

要	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ(英語版Windows OS)、データ分析ソフト、インターネット環境、ファックス
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 畜産局スタッフ 女性 50代 国家人工授精計画担当職員 男性 30代 その他各地獣医事務所等人工授精師 約300名

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・学歴 大卒 畜産学	学歴理由: 人工授精、育種関連の知識が必要のため
	・経験 実務経験 3年以上	経験理由: 人工授精師に技術指導するため
	・家畜人工授精師	理由: 牛の人工授精技術が必要のため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N.NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(熱帯性) 気温( 25-35℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)  
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日育 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 1 月 6 日

要請番号( JL 012 - 09 - B - 24 )

調査者名: 田中 智穂

国名	職種 / 指導科目 (コード 1402 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
フィリ ピン	職種 家畜飼育	◎ 新規 ○ 交替 ○ 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)			3	/
				年 月 日 から	

プログラム番号・名: 生計向上プログラム  
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 国家経済開発局-ボランティア調整局  
 (受入機関名)(英語) NEDA-PNVSCA

2) 配属先名 (日本語) 国家酪農局南ルソン地域事務所  
 (英語) National Dairy Authority-South Luzon Field Office (NDA-SLFO)

3) 任地 マニラ首都圏内ケソン市  
 首都( マニラ首都圏 )から 北 方向 20 Km  
 主要都市( マカティ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 NDAは農業省の指導のもと1995年に酪農振興の行政組織として改組、南ルソン地域事務所はフィリピン国内にある4つの地域事務所の1つ、事務所は首都圏ケソン市にあり管轄範囲はラグナ州、ケソン州、パタンガス州等の南ルソン地域。南ルソン地域担当職員は約20名。地域の酪農に対する酪農牛飼育技術指導や酪農普及業務を行っている。2008年9月まで協力隊の「酪農開発強化プロジェクト」を5年間にわたって実施済。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 2009年1月時点で、3名の家畜飼育及び獣医・衛生隊員が同配属先(活動先は3地域)で活動中。これらの隊員は、フィリピン人スタッフと共に担当地域において酪農牛の飼育・繁殖・育種・衛生管理指導を行っているが、2008年より隊員の提案で「乳検プログラム」として個体乳量の測定、乳サンプルの採取を定期的に行っている。これまでは、酪農牛は個体識別されていなかったが、このデータ収集及びデータ分析によって、優良品種への育種改良をしていくために新たにデータ分析及び分析結果のフィードバックの面で協力できる隊員の要請に至った。

2) 期待される具体的業務内容  
 ラグナ州、ケソン州、パタンガス州で実施中の「乳検プログラム」の定着を目指し、以下の活動をNDA職員と共に実施。  
 ・各地の収集データ(個体乳量、脂肪・タンパク・水分量等)を入力するためのエクセルもしくはアクセスを使ったデータ処理システムの開発支援。  
 ・データ分析に基づく優良品種への育種改良のための提言。  
 ・定期的に訪問する酪農現場でワークショップの開催。個体識別、及びデータ収集の必要性や育種改良の必要性について酪農家に啓発活動。データ収集酪農家・乳牛数の拡大への支援。  
 (通常はケソン市のNDA-SLFOで活動し、月に1~2回NDA職員と共に現場訪問することになる)

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 PC, プリンター、ファックス

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル NDA-SLFO チーフ 男性 50代 1名 普及員 女性 40代 1名、男性 30代 1名	5) 業務使用言語 ◎ 英語 ( ) ○ その他 (タガログ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (V/N: ) □ (V/N: )
--	--	--

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:  
 ・学歴 大卒 畜産学  
 学歴理由:酪農牛飼育・育種の知識が必要なため

経験理由:  
 ・データ処理システム作成経験  
 理由:エクセル、アクセスを使用するため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域況 気候(熱帯性 ) 気温( 20-35 ℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)  
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし ) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 7 月 7 日

要請番号( JL 012 - 09- B - 25 )

調査者名: 田中 智穂

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
フィリ ピン	職種 家畜飼育 (コード 1402 )	○新規 ●交替 4 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	22 / 1	年 月 から
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)			2	22 / 2	
			3	/		

プログラム番号・名 生計向上プログラム  
プロジェクト名

1) 受入省庁名(日本語) 国家経済開発局-ボランティア調整局  
(受入機関名)(英語) Philippine National Volunteer Service Coordinating Agency

2) 配属先名 (日本語) 国家酪農局ビサヤスフィールドオフィス  
(英語) National Dairy Authority, Visayas Field Office

3) 任地 セブ州マングアエ市  
首都( マニラ )から 南東 方向 600 Km  
主要都市( セブ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
国家酪農局は1995年に酪農公社から組織変更、農業省の管轄部署として設立された組織で、国内にセントラルオフィス(マニラ首都圏)と4つの地域事務所がある。各地域事務所は酪農組合及びその傘下の酪農家に対し、酪農技術の巡回指導、セミナーの実施、ローンプログラムの推進等の技術的・経済的支援を実施している。国家酪農局ビサヤスフィールドオフィスの年間予算は約457千ドル(2008年)。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
これまで同配属先には3代4名の家畜飼育隊員が活動している。3代目の2名の隊員は、2008年9月で終了した「酪農開発強化プロジェクト」というボランティアプロジェクトの一員として、当配属先のスタッフと共にセブ地区の酪農家を巡回指導し、酪農技術の向上に貢献してきた。プロジェクトは終了したが、隊員のさらなる技術指導は望まれている。これまでの隊員は特に酪農牛の飼育・搾乳技術の指導、繁殖技術指導を中心に行ってきたが、今後は良質で栄養価の高い「酪農牛用の飼料」の生産を目指した技術指導が必要とされ隊員の要請にいたった。

2) 期待される具体的業務内容  
栄養価が高く高品質の配合の粗飼料生産を目指し配属先スタッフと共に以下の活動を行う。  
・管轄地区内のどの地区にどんな原料飼料(牧草等)があるかを調査し飼料地図を作成する(Feed Mapping)  
・原料飼料をサンプリングし、含有栄養素成分分析を行う(分析機材は農業省第7地域事務所飼料研究室から借用)。  
・酪農牛の乳量増加、高品質乳の増量のために適した原料飼料の配合を実験する。  
・作成した配合飼料を実際に酪農家でテスト使用し、その効果を確認する。  
\*この地域で取れる原料飼料には、サトウキビ、稲藁、トウモロコシ等がある。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
<オフィス>PC、インターネット、プリンター、コピー機 <現場用>草刈機(グラスホッパー)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先スタッフ: 所長:40代女性 スタッフ:31人(酪農技術普及員10名を含む)	5) 業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ その他 (ビサヤ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
---	---	--

資格条件 条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:  
学歴理由: 酪農技術普及員(大卒以上)と実験等を行うため  
経験理由: 酪農用飼料の知識が必要なため  
理由:  
理由:

・学歴 専門学校卒 畜産学  
・経験 実務経験 2年以上  
・小型自動二輪以上

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車			x

配属先管轄地域内の草地等を巡回しサンプリングする必要があるため。

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
\* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(熱帯性気候) 気温( 25-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)  
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV )  
短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 7 月 9 日

要請番号( JL 012 - 09 - B - 26 )

調査者名: 田中 智穂

国名	職種/指導科目 (コード 1402 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
フィリ ピン	職種 家畜飼育 指導科目	○新規	●2年	1	22 / 1
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)	●交替 2代目	○1年 ○ヶ月	2	22 / 2
				3	/

プログラム番号・名: 生計向上プログラム  
プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 国家経済開発局-ボランティア調整局  
(受入機関名)(英語) Philippine National Volunteer Service Coordinating Agency

2) 配属先名 (日本語) 農業省第7地域事務所セブ種畜改良センター  
(英語) Department of Agriculture Regional Field Unit No 7, Cebu Breeding Station

3) 任地 セブ島アルガオ  
首都( マニラ )から 南東 方向 600 Km  
主要都市( セブ市 )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 2 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
当センターは家畜(ヤギ、鶏)等の飼育・繁殖・育種・改良及び飼料用の草地管理を行っている。ヤギはこれまで優秀な雄ヤギを地域農家に貸出し繁殖、または精液採取し人工授精による繁殖を行ってきた。2007年にヤギ部門をセブ市内のセンターからアルガオ地区に移転させたことに伴い、ヤギ凍結精液生産技術の開発を開始した。凍結精液生産は、広域での精液配布及び精液の長期保存を目指して行われる。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
前任隊員はヤギの人工授精技術の向上及び飼料改良(小規模サイレージ作成)に協力してきたが、2008年より冷凍精液生産プログラムが開始されたことに伴い、精液採取・精液状態評価マニュアル作成や精液採取記録簿作成にも協力しており、今後も特に凍結精液作成技術の向上及び人工授精技術、精液採取記録及び状態評価に関する更なる技術指導が求められ、後任隊員の要請にいたった。

2) 期待される具体的業務内容  
農業技術者と共に主に以下の活動を実施する。  
・ヤギの精液収集・収集した精液の状態評価を行う。  
・ヤギの採取精液の凍結・保存技術開発実験を行う。  
・配属先農業技術者のヤギの人工授精技術向上に協力する。  
・ヤギの人工授精技術トレーニングを担当地区のヤギ飼育農家に対して人工授精師と共に実施する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
繁殖用ヤギ(雄・雌)、ヤギ飼育舎、デジタル家畜スケール、人工授精膺、電子顕微鏡、ウォーターバス、偽牝台

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
センターチーフ:50代(女性)日本での研修経験有  
農業技術者 2名 50代(男性)  
その他現場作業員 6名

5) 業務使用言語  
● 英語  
( )  
○ その他  
(セブアノ語)

6) 選考指定言語  
☑ 英語 (レベル: )  
☐ (レベル: )

資格条件  
条件(資格、免許、性別)及びその理由  
性別理由:  
・学歴 大卒 畜産学 学歴理由: 家畜(特にヤギ)飼育知識・経験が必要なため  
・経験 実務経験 2年以上 経験理由:  
・家畜人工授精師 理由: 人工授精技術(めん羊類)が必要なため  
理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
\* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(熱帯性 ) 気温( 20-35℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)  
況域 電話(☐インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし ) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 7 月 11 日

要請番号( JL 506 - 09- B - 17 )

調査者名: 政金 直人

国名	職種/指導科目 (コード 1402 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エチオピア	職種 家畜飼育 指導科目	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)			2	22 / 2
				3	22 / 3
				年 月	から

プログラム番号・名: 農業・農村開発プログラム  
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) オロミア州職業訓練校局  
 (受入機関名)(英語) Oromia TVET Agency

2) 配属先名 (日本語) チロ農業技術短期大学  
 (英語) Chiro Agricultural TVET College

3) 任地 アッサブタファリ  
 首都( アジスアベバ )から 東 方向 320 Km  
 主要都市( ナザレト )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 2 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 1990年農業高校として設立。2001年の教育制度改定にともない3年制短大となった。自然科学部、動物科学部、植物科学部の3学部で構成されている。2007/2008年度の生徒数は約1,000名、教員数41名。卒業生の約80%は州の農業普及員になっている。平成7年度から12年度の間に4名の協力隊員派遣実績がある。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 エチオピアは国民の約85%が農業従事者である。エチオピア政府は全国に25校の農業技術短大を有し、D.A.(Development Agents)と呼ばれる農業普及員を育成し、農民への農業技術普及やサービスを入れている。しかしながら、必要とされる普及員の絶対数の不足、短大での指導内容と現場でのニーズが一致しない、現場で活用できる技術や経験の不足等が課題となっており、搾乳牛と採卵鶏を主とした畜産全般の理論及び実習の指導が求められ要請となった。

2) 期待される具体的業務内容  
 動物科学部に属し以下の業務を予定している。  
 1. 同僚とともに、牛、鶏を主とする家畜飼育及び生産・管理に関する実習授業を行う。  
 2. 卒業後、農業普及員となる学生に対して、農民へ普及する実用的な知識、技術を指導する。  
 3. 同僚が実習授業を行えるよう指導する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 搾乳牛約30頭、採卵鶏、実験室、農場

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
 学部長 男性  
 同学部教員 9名

5) 業務使用言語  
 ◎ 英語  
 ( )  
 ○ ( )

6) 選考指定言語  
 英語 (レベル: )  
 (レベル: )

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 性別理由:  
 ・学歴 大卒 業務関連分野 学歴理由: 同僚教員は大卒以上のため  
 ・経験 実務経験 3年以上 経験理由: 実習指導が求められているため  
 理由:  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概況  
 気候(熱帯性気候) 気温( 15-30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)  
 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 6 月 21 日

要請番号( JL 524 - 09 - B - 03 )

調査者名: 木下 秀俊

国名	職種/指導科目 (コード 1402 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
マラウイ	職種 家畜飼育	○新規	●2年	1	22 / 3	
	指導科目			○1年	2	/
	職種(英) Animal Husbandry				○ヶ月	3
	指導科目(英)	5代目				年 月 日 から

プログラム番号・名 5240000000005 プロジェクト名 農村生計向上プログラム

配属先概要	1)受入省庁名(日本語) 農業食糧安全保障省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Food Security
	2)配属先名 (日本語) ムズズ農業開発局 (英語) Mzuzu Agricultural Development Division
	3)任地 ムジンバ県ムズズ市 首都( リロングウェ )から 北 方向 370 Km 主要都市( ムズズ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業食糧安全保障省は全国を8地域に分け、それぞれに農業開発局(ADD)を設置している。ムズズ農業開発局は管内の下部組織である県農業事務所(DAO)や普及所(EPA)を指揮しながら農業分野全般の事業を行っている。外国の援助やマラウイ国内のNGOが様々な形で関わっているが、配属先の畜産課への直接的な援助はない。

要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 牛乳消費量の半分を輸入に頼っているマラウイでは酪農の振興が大きな課題となっており、牛の生産性の向上のために人工授精の普及が期待されている。ムズズ農業開発局管内には30人以上の人工授精師がいるが、凍結精液や液体窒素の配布体制の不備、機材不足などの理由で人工授精を十分に行えていない授精師が多い。2006年にマラウイ政府とJICAは農民人工授精師養成計画の実施に合意し、5年間に全国で86人の農民人工授精師を養成し、人工授精事業の実施体制の強化と現場における人工授精師の支援を計画しており、要請はこの計画に関連して出されている。
	2)期待される具体的業務内容 「農民人工授精師養成計画」に準じて、フィールド調整員、関連隊員などと協力して主に次の業務を行う 1. 人工授精師に技術的な支援をする 2. 人工授精事業の管理運営を支援する 3. 人工授精研修と妊娠鑑定研修の講義・実習において、マラウイ人講師を補佐する 4. プロジェクトに関連する報告書を提出する 5. 農家を訪問し、人工授精の普及、定着にむけた活動と飼養管理の助言をする
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 凍結精液保管用液体窒素保管器、ストロー精液注入器など

4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 畜産課職員は男性5名。主な同僚は人工授精調整員で40才代。指導対象として予想される農民人工授精師の技術レベルは様々である。	5)業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ その他 (トンプカ語)	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
--	---	---------------------------------------

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
		学歴理由:
		経験理由:
	・家畜人工授精師 ・小型自動二輪以上	理由:人工授精研修において指導者となるため 理由:農家への巡回指導が必要なため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車		P	×

農村への巡回指導の移動手段として必要  
 \* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(サバンナ ) 気温( 5~30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)  
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 6月 21日

要請番号( JL 524 - 09- B - 04 )

調査者名: 木下 秀俊

国名	職種/指導科目 (コード 1402)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マラウイ	職種 家畜飼育 指導科目	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)			2	22 / 2
	3			22 / 3	

プログラム番号・名 5240000000005 プロジェクト名 農村生計向上プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業食糧安全保障省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Food Security
	2) 配属先名 (日本語) ミコロングウェ牧場 (英語) Mikolongwe Veterinary Station
	3) 任地 チラズル県ミコロングウェ 首都( リロングウェ )から 南東 方向 350 Km 主要都市( ブランタイヤ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ミコロングウェ牧場は農業食料安全保障省畜産局の牧場で牛・豚・山羊・羊・鶏などを生産し農家に供給している。牧場は家畜課、養鶏課、国立人工授精所からなり、場内にはミコロングウェ獣医短大もある。ボランティアは家畜課の配属となる。JICAが農民人工授精師養成計画において牧場と協同している他、ベルギーが獣医短大の支援をしている。配属先の年間予算は720万円相当。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 牛乳消費量の半分を輸入に頼っているマラウイでは酪農の振興が大きな課題となっており、牛の生産性の向上のために人工授精の普及が期待されている。2006年にマラウイ政府とJICAは「農民人工授精師養成計画」の実施に合意し、5年間に全国で86人の農民人工授精師を養成し、人工授精事業の実施体制の強化と現場における人工授精師への支援を計画している。要請はこの計画に沿って出されており、牧場と周辺農家において繁殖管理の支援や助言が必要とされている。

2) 期待される具体的業務内容  
 「農民人工授精師養成計画」に沿って他のボランティアなどと協力して主に次のような業務を行う  
 1. 牧場の牛の飼養管理、特に繁殖管理を支援する  
 2. 牧場周辺農家に牛の飼養管理について助言する  
 3. 人工授精研修と妊娠鑑定研修の講義・実習においてマラウイ人講師を補佐する  
 4. 人工授精事業を強化する業務を支援する  
 5. プロジェクトに関連する報告書を提出する

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 牛はフリージアン種、マラウイゼブと呼ばれる在来種、あるいはこれらの交雑種など。液体窒素製造機(オランダstirling社製、型式: SterLIN-1 Compact、2001年製造)、顕微鏡など。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 牧場職員は分場を含め8人(男7女1)。他に契約作業員など100人以上が勤務。主な同僚は畜産課長で男性40代。畜産課長など職員は短大卒以上で経験も豊富。作業員や周辺農家の飼養管理知識や技術は概して低い。	5) 業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ その他 (チェワ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
--	---	--

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 性別理由:  
 学歴理由:  
 経験理由:  
 ・家畜人工授精師 理由:人工授精研修において指導者となるため  
 ・小型自動二輪以上 理由:農家への巡回指導が必要なため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車		P	×

周辺農家への訪問時の移動手段として必要  
 \* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(サバンナ ) 気温( 10~30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)  
 電話(□インターネット可 □通話可 ☑不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV )

短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 1 月 6 日

要請番号( JL 524 - 09 - B - 22 )

調査者名: 木下 秀俊

国名	職種/指導科目 (コード 1402 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マラウイ	職種 家畜飼育	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Animal Husbandry			3	22 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 プロジェクト名 農業生計多様化プログラム  
食糧安全保障プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業食糧安全保障省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Food Security
	2) 配属先名 (日本語) ムワンザ農業事務所 (英語) Mwanza District Agricultural Office
	3) 任地 ソンバ 首都( リロングウェ )から 南西 方向 450 Km 主要都市( ブランタイヤ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業食糧安全保障省は全国を8地域にわけ、それぞれに農業開発局(ADD)を設置している。ブランタイヤ農業開発局の下に配属先であるムワンザ農業開発事務所(DADO)が配置されており、その管轄下に3つの普及所(EPA)がある。配属先は管轄内の普及所と連携し、農業関連技術の支援を行っている。現在1名のJOCV(家畜飼育)と2名のVSOが活動中であり、6月にはJOCV(村落開発)が赴任予定である。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 牛乳消費量の半分を輸入に頼っているマラウイでは酪農の振興が大きな課題となっており、牛の生産性の向上のために人工授精が有効な手段として普及が期待されている。2006年にマラウイ政府とJICAは農民人工授精師養成計画の実施に合意した。5年間で86人の農民人工授精師を養成し、人工授精事業の実施体制の強化と現場における人工授精師の支援が計画されている。前任者はこの計画に沿って、研修の支援、人工授精師の技術支援、人工授精業務体制の支援、酪農グループの支援などを行っている。	
	2) 期待される具体的業務内容 農民人工授精師養成計画に沿ってフィールド調整員、関連隊員などと協力して主に次のような業務を行う 1. 人工授精師に技術的、制度的な支援をする 2. 人工授精事業の管理運営を支援する 3. 人工授精研修と妊娠診断研修の講義、実習において、マラウイ人講師を補佐する 4. プロジェクトに関連する報告書を提出する 5. 農家において人工授精の普及、定着にむけた活動を行う	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 凍結精液保管用液体窒素保管器、ストロー精液注入器	

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 畜産課職員は男性3人、主な同僚は人工授精担当官40代、人工授精技術は高い、研修の講師も勤める。指導対象として予想される数名の農民人工授精師の技術レベルはいずれも実務経験が浅い。	5) 業務使用言語 ● 英語 ( ) ○ その他 (チェワ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
--	---	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
		学歴理由:
		経験理由:
	・家畜人工授精師 ・小型自動二輪以上	理由:人工授精研修で指導的な立場であるため 理由:農家への巡回指導があるため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輜 ●単車 ○自転車 農家への巡回指導があるため		P	×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地 気候(サバンナ ) 気温( 10~30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし) 況域 電話(□インターネット可 □通話可 ☑不良 □なし ) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

記入日:平成 21年 3月 31日

要請番号( JL 524 - 09- B - 23 )

調査者名: 木下 秀俊

国名	職種 / 指導科目 (コード 1402 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マラウイ	職種 家畜飼育	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1
	指導科目			2	22 / 2
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)			3	22 / 3

プログラム番号・名 **食糧安全保障プログラム** プロジェクト名

1) 受入省庁名(日本語) 農業食糧安全保障省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Food Security

2) 配属先名 (日本語) チョロ県農業事務所  
 (英語) Thyolo District Agriculture Office

3) 任地 チョロ県  
 首都( リロングウェ )から 南 方向 350 Km  
 主要都市( ブランタイヤ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 農業食糧安全保障省は全国を8地域に分け農業開発局(ADD)を設置している。ブランタイヤADDに属するチョロ県農業事務所は管内の普及所職員を通じて、県内の作物、畜産、灌漑、食品加工など農業分野全体の業務を行っている。年間予算は1300万円。配属先への直接的な外国の援助は無いが、国際機関やNGOなどが様々な形で県内の農家を支援しており配属先も関係している。また果樹のJICAボランティア要請が出ている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 国民1人あたりの牛乳消費量は年間5リットルで近隣諸国の3分の1程度であり、牛乳消費量の半分を輸入に頼っているため、酪農の振興が大きな課題となっている。チョロ県は牛乳生産の盛んな県ではあるが、小規模農家における乳牛の飼養管理技術は一般的に未熟である。直接の前任者ではないが、管内の酪農組合にいた家畜飼育ボランティアは、農家を集めての飼養管理講習会の開催、チーズやヨーグルト製造への協力、農民人工授精師への支援、人工授精研修への協力などの活動を行った。

2) 期待される具体的業務内容  
 1. 農家を巡回し乳牛の飼養管理(給餌、牧草、乾草、サイレージ、牛舎衛生、記録など)について助言する  
 2. 乳牛の飼養管理全般(給餌、牧草、乾草、サイレージ、牛舎衛生、記録など)についての講習会を開催する  
 3. 牛の人工授精業務を支援する  
 4. 人工授精研修と妊娠診断研修の講義、実習において、マラウイ人講師を補佐する  
 5. 「農民人工授精師養成計画」プロジェクトのボランティアに準じて、関連隊員などと協力して活動する

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 特になし

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
 県農業事務所長 男性 50歳代  
 畜産課職員は普及所を含めて男性6名 30歳代 - 50歳代。  
 同僚は畜産の一般的な知識と指導経験がある。指導対象となる小規模農家の多くの技術レベルは初歩的である。

5) 業務使用言語  
 ● 英語  
 ○ その他 (チェワ語)

6) 選考指定言語  
 英語 (レベル: )  
 (レベル: )

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 性別理由:  
 学歴理由:  
 経験理由:  
 ・家畜人工授精師 理由:人工授精研修において指導者となるため  
 ・小型自動二輪以上 理由:農家への巡回指導が必要なため

活動用交通手段の必要性  
 ●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車  
 農家への巡回指導が必要なため  
 研修等 形態 現職教員特別参加制度  
 P X

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(サバナ ) 気温( 10~30℃位) 電気(□安定 ☒不安定 □なし)  
 水域 電話(☒インターネット可 ☒通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☒不安定 □なし)



平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 3月 12日

要請番号( JL 524 - 09 - B - 24 )

調査者名: 木下 秀俊

国名	職種/指導科目 (コード 1402 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マラウイ	職種 家畜飼育 指導科目 職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	22 / 1
				2	22 / 2
				3	22 / 3
				年 月 日	から

プログラム番号・名: 食糧安全保障プログラム  
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 農業食糧安全保障省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Food Security

2) 配属先名 (日本語) カスング農業開発局  
 (英語) Kasungu Agriculture Development Division

3) 任地 カスング県カスング  
 首都( リロングウェ )から 北 方向 125 Km  
 主要都市( カスング )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 農業食糧安全保障省は全国を8地域に分け、それぞれに農業開発局(ADD)を設置している。カスング農業開発局は管轄内の下部組織である県農業事務所(DAO)や普及所(EPA)を指揮しながら農業分野全般の事業を行っている。カスング地域はたばこやとうもろこしなどの生産が盛んである。外国の援助やマラウイ国内のNGOが様々な形で関わっているが、配属先の畜産課への直接的な援助はない。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 牛乳消費量の半分を輸入に頼っているマラウイでは酪農の振興が大きな課題となっており、牛の生産性向上のために人工授精の普及が期待されている。カスング農業開発局管内には30人ほどの人工授精師がいるが、凍結精液や液体窒素の配布体制の不備、機材不足などの理由で人工授精を実際に行っている授精師は少ない。2006年にマラウイ政府とJICAが合意した「農民人工授精師養成計画(5年間に全国で86人の農民人工授精師を養成し、人工授精事業の実施体制の強化と現場における人工授精師への支援を目的とする)」が進行中であり、この要請は当計画に関連して出されている。

2) 期待される具体的業務内容  
 農民人工授精師養成計画に準じて、フィールド調整員、関連隊員などと協力して主に次のような業務を行う。  
 1. 人工授精師に技術的な支援をする  
 2. 人工授精事業の管理運営を支援する  
 3. 人工授精研修と妊娠診断研修の講義、実習において、マラウイ人講師を補佐する  
 4. プロジェクトに関連する報告書を提出する  
 5. 農家を訪問し、人工授精の普及、定着に向けた活動と飼養管理の助言をする

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 凍結精液保管用液体窒素保管器、ストロー精液注入器

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 畜産課職員は男性3名、女性1名。主な同僚は酪農担当者で男性20代。指導対象として予想される配属先周辺にいる数名の農民人工授精師は長期間活動していないため技術レベルは低い。	5) 業務使用言語 ◎ 英語 ( ) ○ その他 (チェワ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
---	---	--

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由: \_\_\_\_\_  
 学歴理由: \_\_\_\_\_  
 経験理由: \_\_\_\_\_

・家畜人工授精師 理由: 人工授精研修において指導者となるため  
 ・小型自動二輪以上 理由: 農家への巡回指導が必要なため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輦 ◎単車 ○自転車		P	×

農家への巡回指導が必要なため

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(サバンナ ) 気温( 10~30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)  
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし ) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(  JV  日青  SV  日SV )  
 短期(  JV\_A  JV\_B  SV\_A  SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 10 日

調査者名:菅谷 茂之

要請番号( JL 248 - 09 - B - 10 )

国名	職種/指導科目 (コード 1403 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ニカラグ ア	職種 獣医・衛生 指導科目	<input type="radio"/> 新規	<input checked="" type="radio"/> 2年	1	22 / 1
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene 指導科目(英)	<input checked="" type="radio"/> 交替	<input type="radio"/> 1年	2	22 / 2
		2代目	<input type="radio"/> ヶ月	3	22 / 3

プログラム番号・名 2480000000008 プロジェクト名 貧困地域生計向上プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 農林業省  
(受入機関名)(英語) Ministry of agriculture and forestry

2) 配属先名 (日本語) 国立獣医研究所  
(英語) National Laboratory of Diagnostics Veterinary

3) 任地 チョントレス県フィガルパ市  
首都( マナグア )から 東 方向 140 Km  
主要都市( マナグア )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 チョントレス県の農家の衛生管理を担っており、事務所と研究所がある。研究所スタッフは農家に出向き動物の検診や検査のため血液・糞便を採取し、そのサンプルを検査する。事務所は農業部門と動物部門があり、貧しい農家へ動物や植物の種を提供して生活の質の向上を目的とするプロジェクトを展開している。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 チョントレス県ではJICA技術協力プロジェクトPROGANIC「中小規模農家畜生産性向上計画プロジェクト」が開発されている。右プロジェクトは中小規模農家の牛の生産技術向上を目指し、モデル地域の農家への指導を通じ、国・市・組合の現場畜産技術者が適性技術を習得し、普及できる能力の向上を支援している。対象地域が広範にわたるため隊員は上記プロジェクトの専門家と適宜コンタクトをとりつつ、研究所のスタッフとともに研究所にて牛の病態検査の補助及び農家を訪問し、検査を補助する。

2) 期待される具体的業務内容  
 1. 中小規模農家の家畜(乳牛)の検査。  
 血清学(主にブルセラ病)。寄生虫学(糞便検査・血液原虫検査)。血液学(Ht値・血球計算)。  
 2. 牧畜組合等に所属する中小規模農家及び農業従事者に対する営農、生活改善に係る支援。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 一般的資機材(顕微鏡・実体顕微鏡・培養試験管・ピペット・電子はかり・電子PH計・Ht用遠心機・保温機・滅菌機等)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 女性40歳代 (寄生虫学専門) 男性40歳代 (獣医師)	5) 業務使用言語 <input checked="" type="radio"/> スペイン語 ( ) <input type="radio"/> ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: ) <input type="checkbox"/> (レベル: )
---	---	---

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 性別理由:  
 学歴理由:  
 経歴理由:  
 ・獣医師 理由: 基礎的知識は必須  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 車輦 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車			X

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(熱帯 ) 気温( 25~38℃位) 電気(  安定  不安定  なし )  
 況域 電話(  インターネット可  通話可  不良  なし ) 水道(  安定  不安定  なし )

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期( ● JV ○ 日青 ○ SV ○ 日SV )  
 短期( ○ JV\_A ○ JV\_B ○ SV\_A ○ SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 1 月 4 日

要請番号( JL 603 - 09 - B - 12 )

調査者名: 對馬 均

国名	職種/指導科目 (コード 1403)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ジブチ	職種 獣医・衛生 指導科目	● 新規	◎ 2年	1	22 / 1
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene 指導科目(英)	○ 交替	○ 1年	2	22 / 2
		代目	○ ヶ月	3	22 / 3
				年 月	から

プログラム番号・名: 乾燥地村落開発プログラム  
 プロジェクト名:

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業・畜産・漁業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Farming and Fishery
	2) 配属先名 (日本語) 農業局 (英語) Farming Office
	3) 任地 ジブチ市 首都( ジブチ市 )から 南 方向 7 Km 主要都市( ジブチ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.3 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 年間予算10,000,000フラン IMF等から約2000000ドルの援助を受けている。 その他専門家による指導を受けている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 隊員は、衛生管理主任として配属先の獣医師と共に、防疫研究所が設置されたを中心にダメルジョーグで農家に対し①飼料の安全性を確保②放牧家畜への防疫等を行い、併行してスタッフの育成に当たる。
	2) 期待される具体的業務内容 ジブチ共和国で唯一自国生産で利益を上げているのが畜産部門である。一般に畜産は遊牧民が遊牧で行い、定住しない。隊員は、数少ない定住型畜産を行っているジブチ市郊外の農村地帯ダメルジョーグを中心に郊外で飼養される肉牛・乳牛・羊・山羊の栄養不良改善や病気予防等について、獣医師と共にアドバイスを行うことが求められている。必要な獣医師等指導者が不足していることから、今回の要請となった。 なおジブチ市郊外の飼養農家は約15軒、牛・羊等の飼養頭数合計は約2,600である。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 家畜の衛生管理に係るもの全て

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 獣医師1名 5名の専門職員(20~40代男性) その他1名	5) 業務使用言語 ◎ フランス語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
------------------	---	--------------------------------------	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	・性別 男性 性別理由: イスラム社会で指導的立場にあるため 学歴理由:
	・経歴 実務経歴 3年以上 経歴理由: 現場農家・スタッフへの指導を行うため
	・獣医師 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(乾燥地砂漠気候) 気温( 30~45℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)
------	--

平成 21年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 2 月 20 日

要請番号( JL 506 - 09- B - 26 )

調査者名: 岩田章一・小川久美子

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
エチオピア	職種 農業協同組合 (コード 1501 )	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	22 / 1	年 月 から
	指導科目			2	22 / 2	
	職種(英) Farmer's Co-operatives			3	22 / 3	
ア	指導科目(英)					

プログラム番号・名 農業・農村開発プログラム  
 プロジェクト名 農協・農民組織支援

1) 受入省庁名(日本語) オロミア組合推進委員会  
 (受入機関名)(英語) Oromia Cooperative Promotion Commission

2) 配属先名 (日本語) オロミア組合推進委員会  
 (英語) Oromia Cooperative Promotion Commission

3) 任地 アジスアベバ  
 首都( アジスアベバ )から 南 方向 1 Km  
 主要都市( アジスアベバ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.2 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 同委員会は、エチオピアにおいて最大の面積、人口を誇るオロミア州において、農協組合の組織運営全般に関する指導、登録業務、トレーニングの実施、活性化、会員組合のための販路開拓等の業務を実施している。年間予算は約1,150万ブル(約1億1500万円)。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 農業分野はエチオピアにおいて、その80%以上の国民が従事している重要セクターである。その農業分野における、農協組合の役割は年々その重要性を増し、国をあげて、その活性化、能力向上に力を注いでいるという現状がある。同委員会は、同国最大の面積、人口を誇る主要な州の組合を管轄する行政機関であり、傘下組合の能力向上、販路拡大等の活動をより充実化、活性化を積極的に推進しているところ、今回、同分野における知見を持った人材の協力が要請されることとなった。なお、同委員会からは、本要請の他、市場開拓分野で協力するボランティアが同じく要請されている。

2) 期待される具体的業務内容  
 同委員会の推進課担当者と共に以下の活動を行う。  
 ① 傘下の農協組合に対する能力向上プログラムの活性化、充実化、普及等及びマネジメント能力向上に資する活動。  
 ② 傘下の組合を巡回し上記活動の実施状況等をモニタリングする。  
 ③ 傘下の農業組合の生産物等の販路拡大に対する支援の実施  
 (販路拡大については、他に募集予定の市場調査分野のボランティアとも協力しながら活動を実施する)。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 事務机、PC 等

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル スタッフ数:90名(男性60名、女性30名)30代~50代 農業分野 や社会科学の学位保持者が主。 組合関係者、農民等 20代~50代の男女	5) 業務使用言語 ◎ 英語 ( ) ○ ( )	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: ) □ (レベル: )
--	--------------------------------------	--

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由  
 性別理由:  
 学歴理由:  
 経験理由:  
 ・農業分野実務経験(農協での経験含) 5年以上 理由:主に農協に対する能力向上に協力を行う為  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(熱帯性気候) 気温( 15-30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)  
 況域 電話(□インターネット可 □通話可 ☑不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)